

## 第2章 市民の健康を取り巻く現状

## ▼第2章 市民の健康を取り巻く現状▼

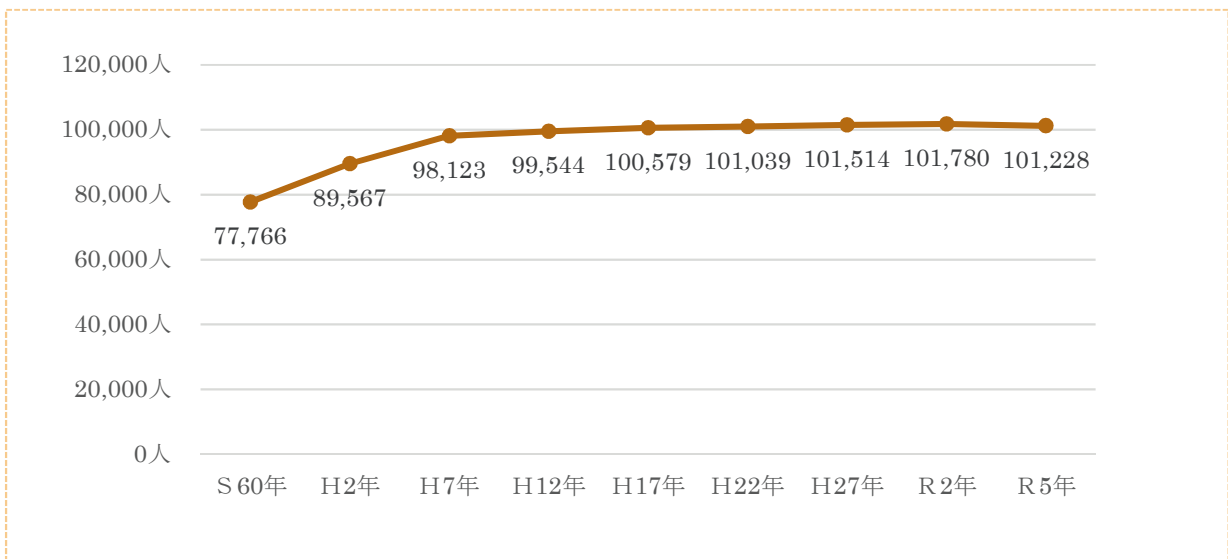
### 1 人口構造の推移

#### (1) 人口

本市の人口は令和5年1月1日現在101,228人で、平成7年頃までは大きく増加していましたが、近年ではほぼ横ばいで推移しています。

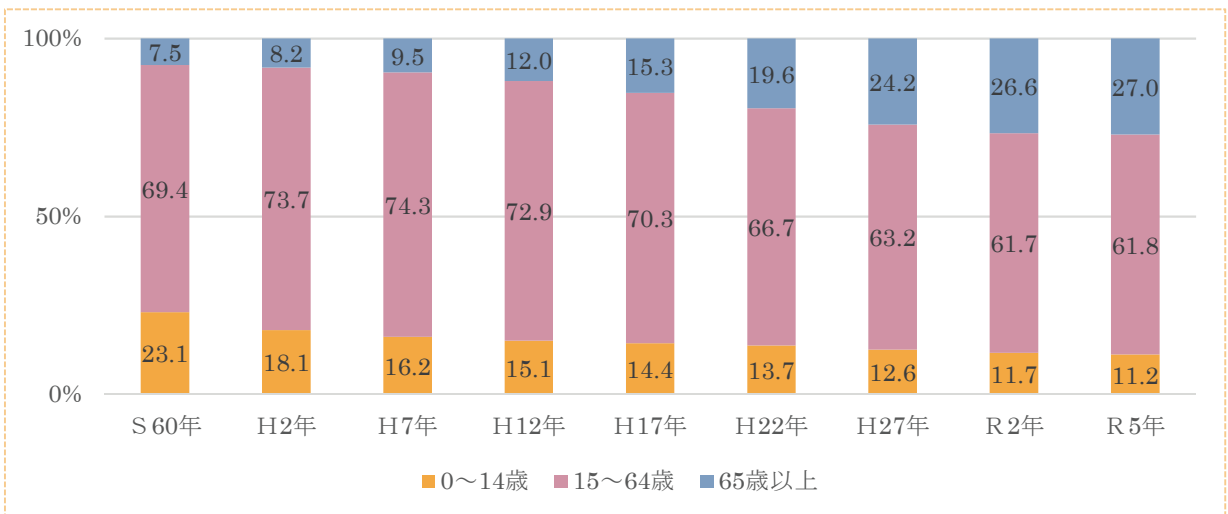
年齢別人口では、65歳以上の高齢者人口が年々増加し、15歳未満の年少人口は減少傾向が継続しており、少子高齢化が進んでいます。

#### 伊勢原市の人口の推移



資料:S60～R2年は国勢調査（各年10月1日現在）。R5年はR2年度国勢調査を基にした推計人口（1月1日現在）。

#### 伊勢原市の年齢別人口の推移



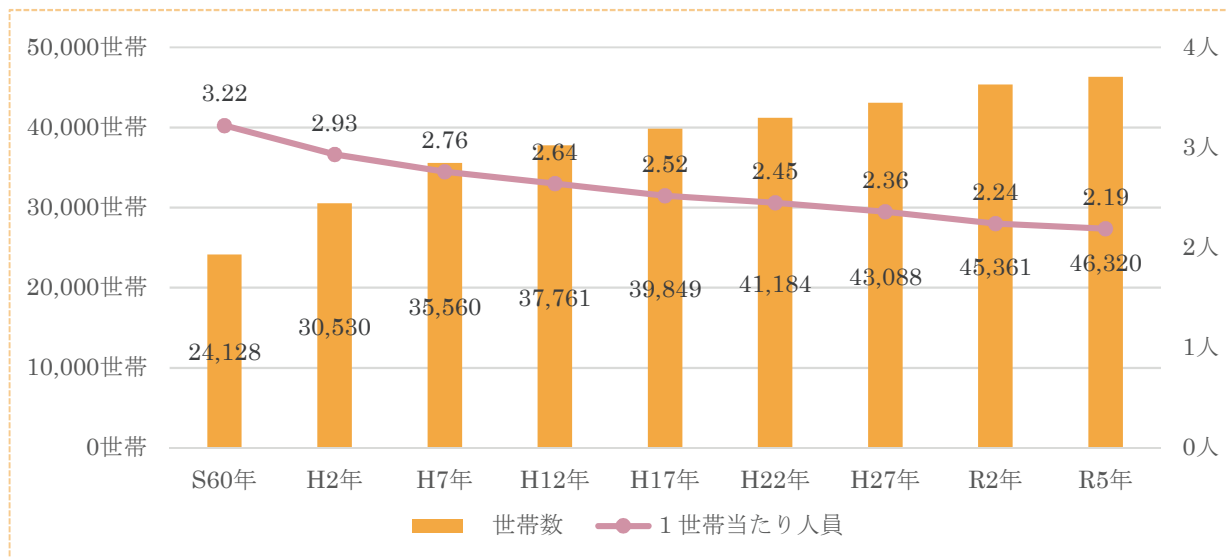
資料:S60～R2年は国勢調査（各年10月1日現在）。R5年はR2年度国勢調査を基にした推計人口（1月1日現在）。

\*年齢不詳者を除く。

## (2) 世帯数

本市の世帯数は令和5年1月1日現在46,320世帯で、増加傾向で推移しています。一方で1世帯当たり人員は年々減少しており、核家族化が進行している状況がうかがえます。

### 伊勢原市の世帯数と1世帯当たり人員の推移



資料：S60～R2年は国勢調査（各年10月1日現在）。R5年はR2年度国勢調査を基にした推計人口1月1日現在。

## (3) 出生率と合計特殊出生率<sup>\*1</sup>

令和2年における本市の出生率（人口千対）は6.7で、全国6.8を下回る水準となり、ゆるやかな減少傾向が継続しています。

また、1人の女性が一生の間に生む子どもの数（合計特殊出生率）は、本市は1.24で、神奈川県1.20を上回っていますが、全国1.33を下回っています。

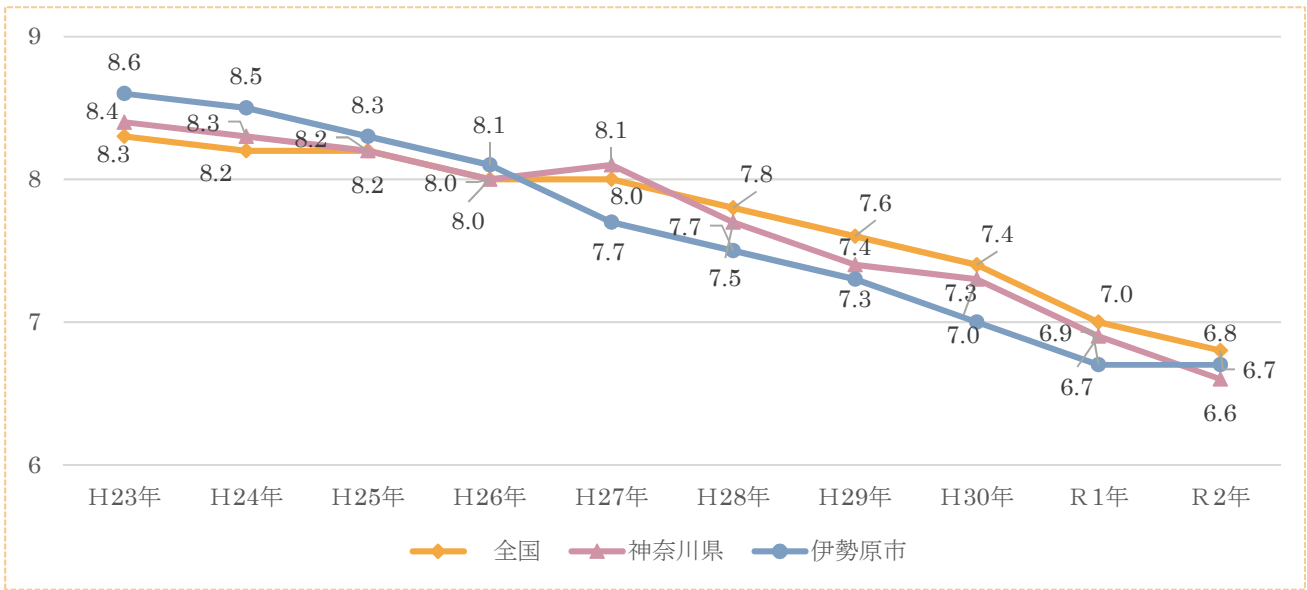
### 全国・神奈川県・伊勢原市における出生数・出生率・合計特殊出生率

区分	出生数（人）			出生率（人口千対）			合計特殊出生率		
	全国	神奈川県	伊勢原市	全国	神奈川県	伊勢原市	全国	神奈川県	伊勢原市
H23年	1,050,806	76,000	868	8.3	8.4	8.6	1.39	1.25	1.29
H24年	1,037,231	75,477	862	8.2	8.3	8.5	1.41	1.27	1.32
H25年	1,029,816	74,320	833	8.2	8.2	8.3	1.43	1.28	1.33
H26年	1,003,539	72,996	814	8.0	8.0	8.1	1.42	1.29	1.34
H27年	1,005,677	73,475	780	8.0	8.1	7.7	1.45	1.33	1.31
H28年	976,978	70,648	764	7.8	7.7	7.5	1.44	1.31	1.31
H29年	946,065	68,131	743	7.6	7.4	7.3	1.43	1.29	1.31
H30年	918,400	66,564	718	7.4	7.3	7.0	1.42	1.28	1.26
R1年	865,239	63,035	685	7.0	6.9	6.7	1.36	1.23	1.22
R2年	840,835	60,865	680	6.8	6.6	6.7	1.33	1.20	1.24

資料：厚生労働省 人口動態統計、神奈川県衛生統計年報。

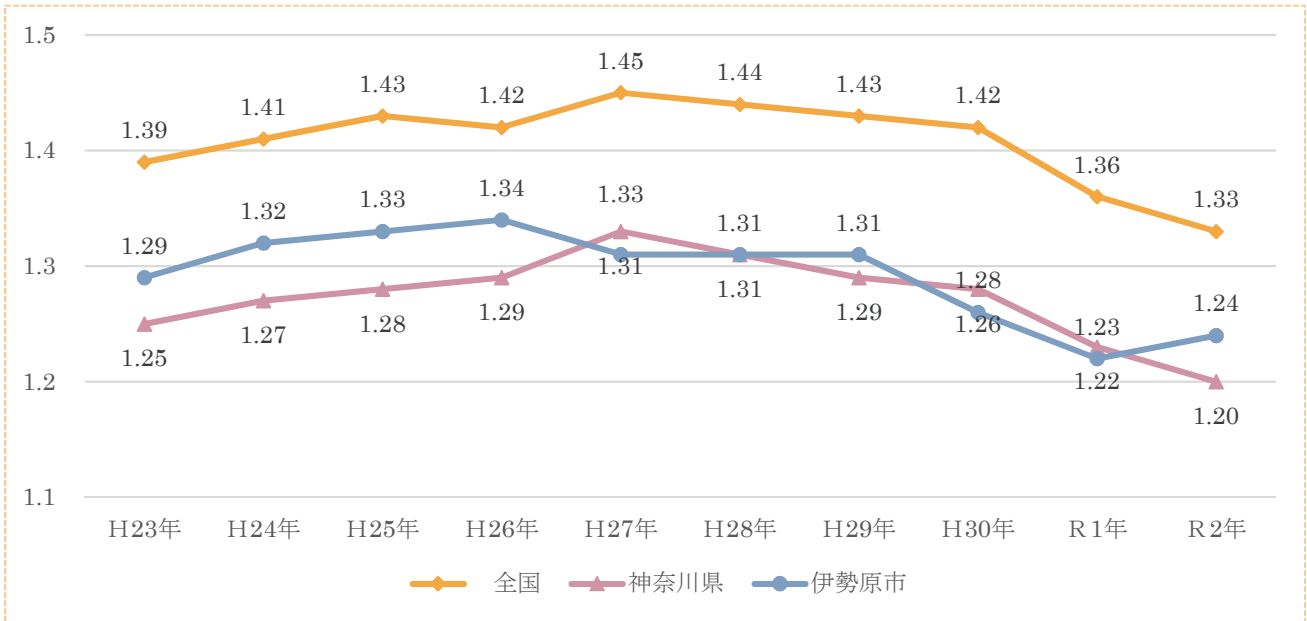
\*1 合計特殊出生率は、15-49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生に産む子どもの数を表す。

全国・神奈川県・伊勢原市における出生率（人口千対）



資料：神奈川県衛生統計年報。

全国・神奈川県・伊勢原市における合計特殊出生率

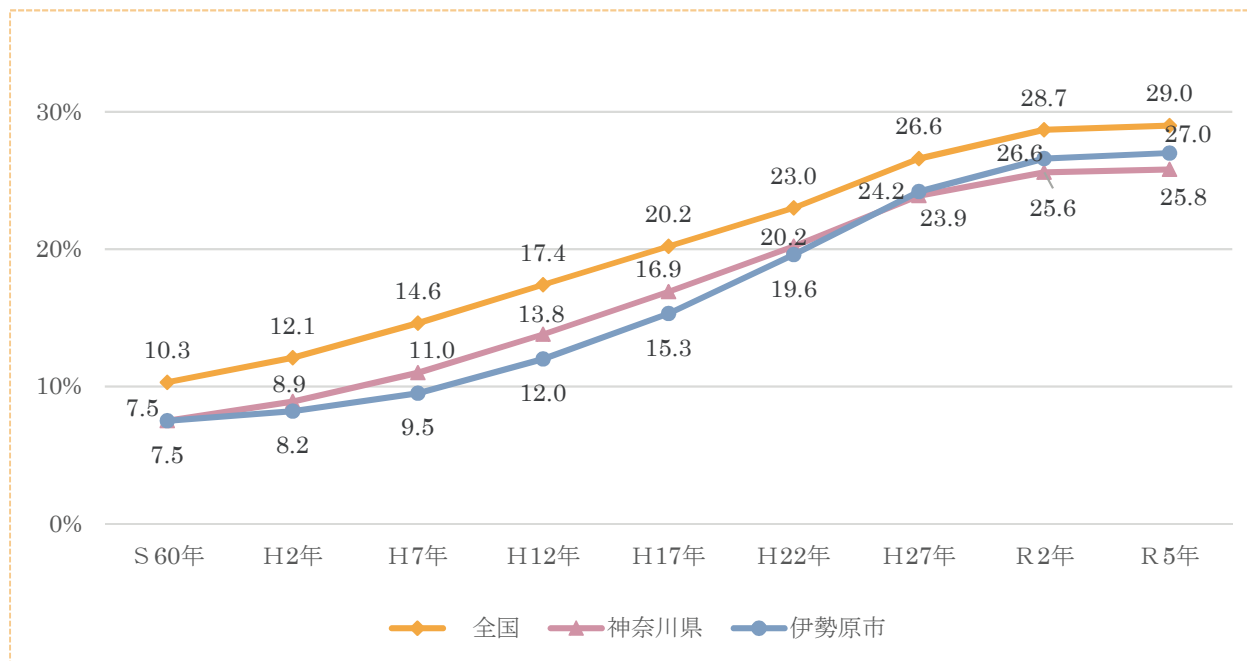


資料：神奈川県衛生統計年報。

#### (4) 高齢化率

令和5年1月1日現在の本市の高齢化率は27.0%で、全国平均の29.0%を下回っています。また、従前は、神奈川県のアverage値を下回っていましたが、徐々に近づき令和5年では県の平均を上回っています。

#### 高齢化率の推移



資料：S60～R2年は国勢調査。R5年は神奈川県年齢別人口統計調査(1月1日現在)。

## 2 死亡要因の状況

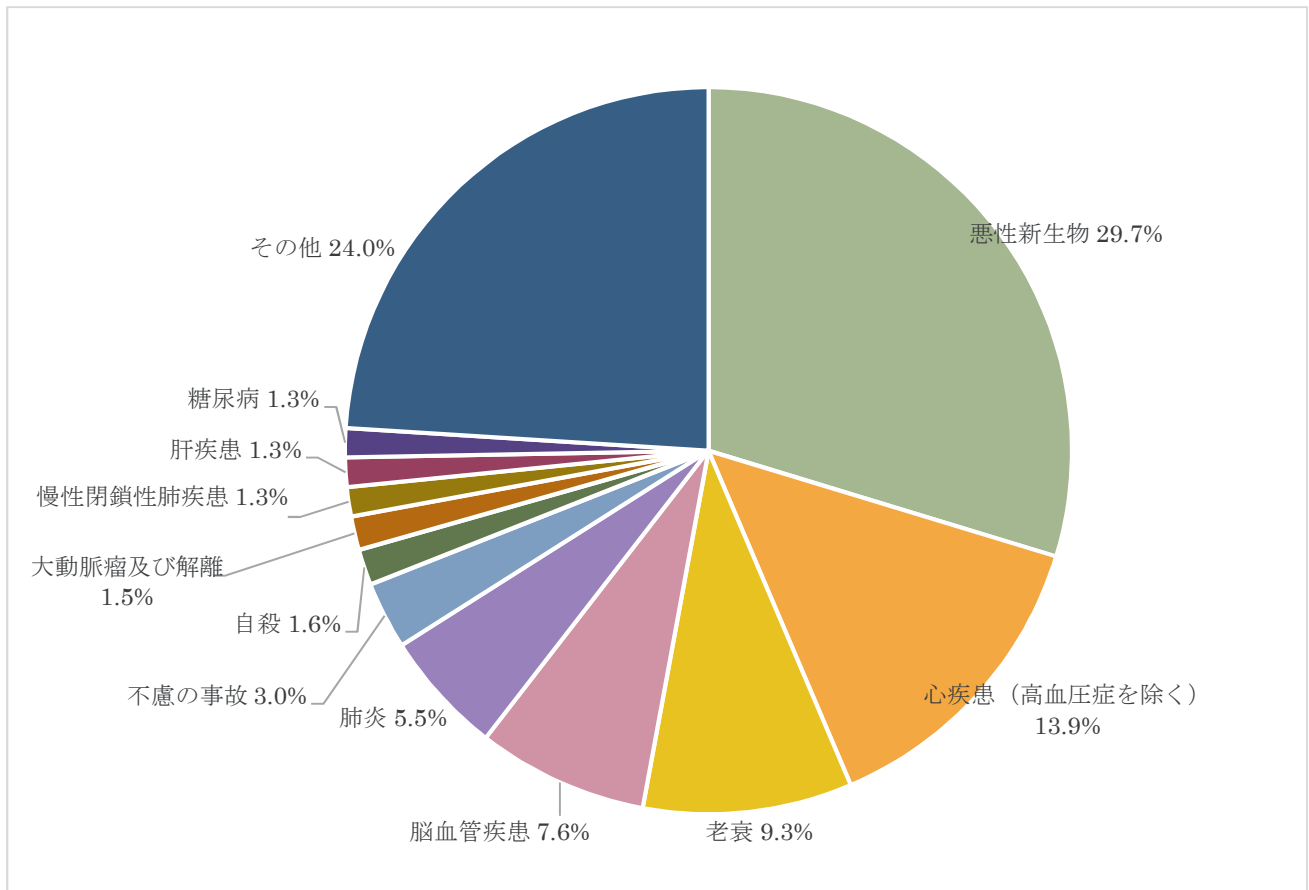
### (1) 主要死因別死亡の状況

令和2年の死亡要因の1位から5位は、国、神奈川県、本市ともに同じとなっています。

#### 令和2年 国・神奈川県・伊勢原市の死亡要因

区分	1位	2位	3位	4位	5位
全国 (%)	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
	27.6	15.0	9.6	7.5	5.7
神奈川県 (%)	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
	29.0	14.8	11.4	6.9	4.8
伊勢原市 (%)	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
	29.7	13.9	9.3	7.6	5.5

#### 令和2年伊勢原市民の死亡要因（単位：％）



資料：令和2年神奈川県衛生統計年報。

## (2) 3大疾患による死亡者年次推移

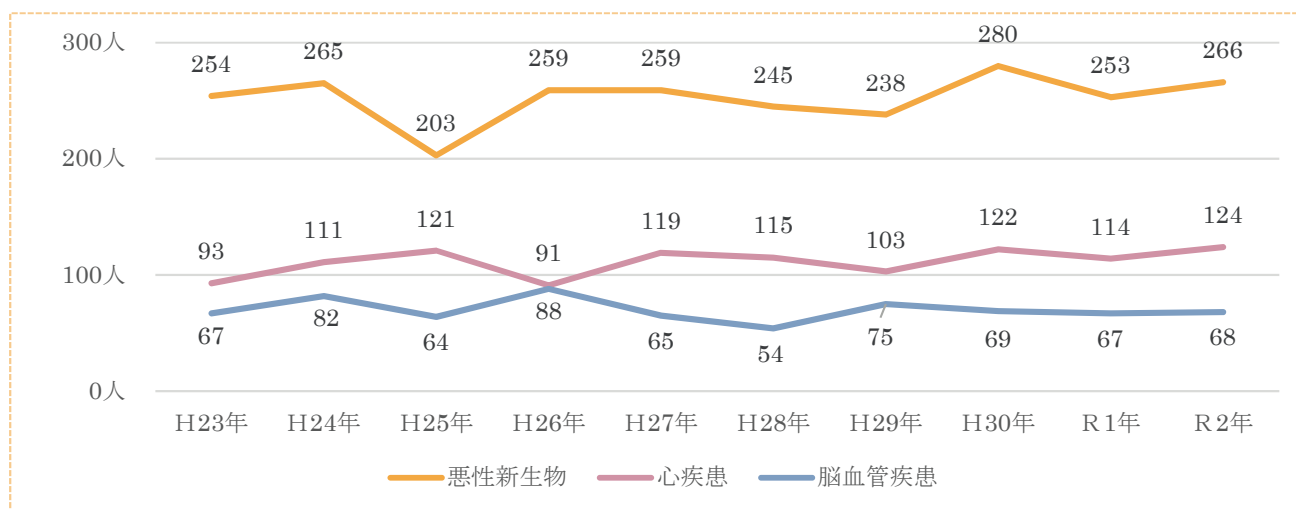
過去10年間の傾向をみると、悪性新生物による死亡者数が神奈川県、伊勢原市ともに1位で、伊勢原市は年によって変化はあるものの、増加傾向にあります。

また、心疾患、脳血管疾患による死亡者数は、年によって差があります。

### 3死亡要因による死亡者数の推移

区分		H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
神奈川県	悪性新生物 (人)	22,279	22,302	22,509	22,993	23,200	23,395	23,565	24,030	23,974	24,538
	心疾患 (人)	10,459	10,470	10,623	10,786	10,890	11,284	11,865	12,256	12,488	12,549
	脳血管疾患 (人)	6,831	6,720	6,574	6,270	6,219	6,094	6,158	6,052	5,976	5,839
伊勢原市	悪性新生物 (人)	254	265	203	259	259	245	238	280	253	266
	心疾患 (人)	93	111	121	91	119	115	103	122	114	124
	脳血管疾患 (人)	67	82	64	88	65	54	75	69	67	68

### 伊勢原市3死亡要因による死亡者数の推移



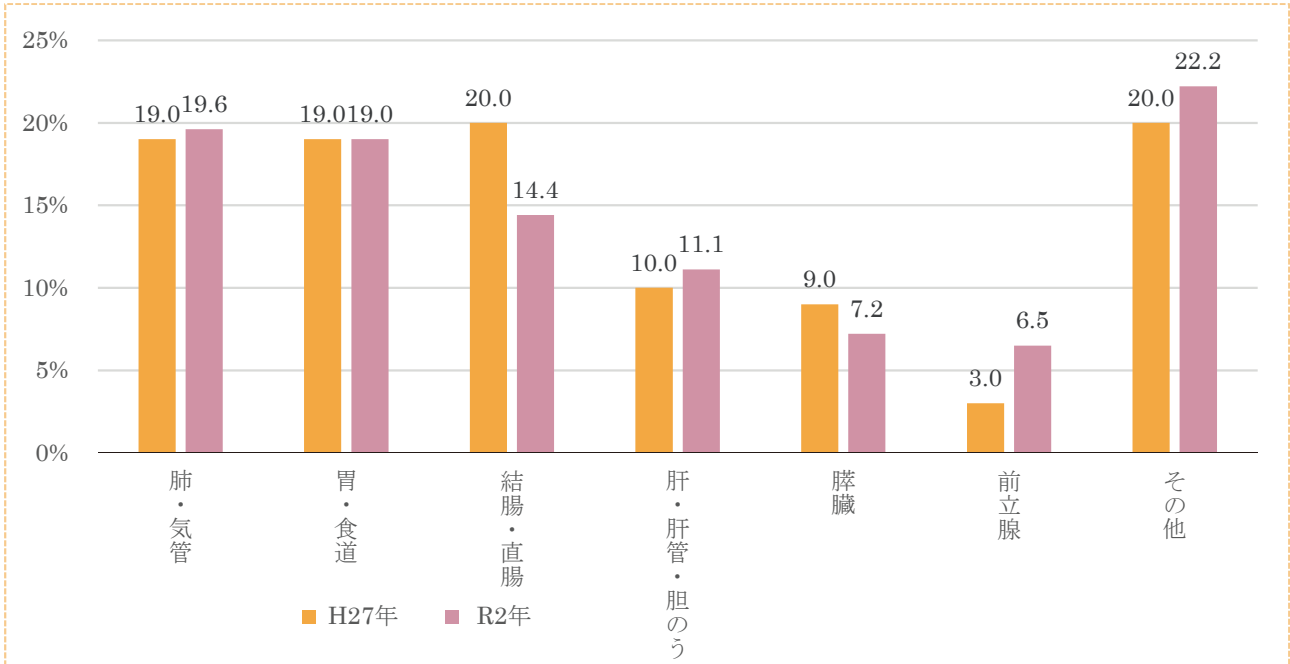
資料：令和2年神奈川県衛生統計年報。

### (3) 悪性新生物部位別死亡の状況

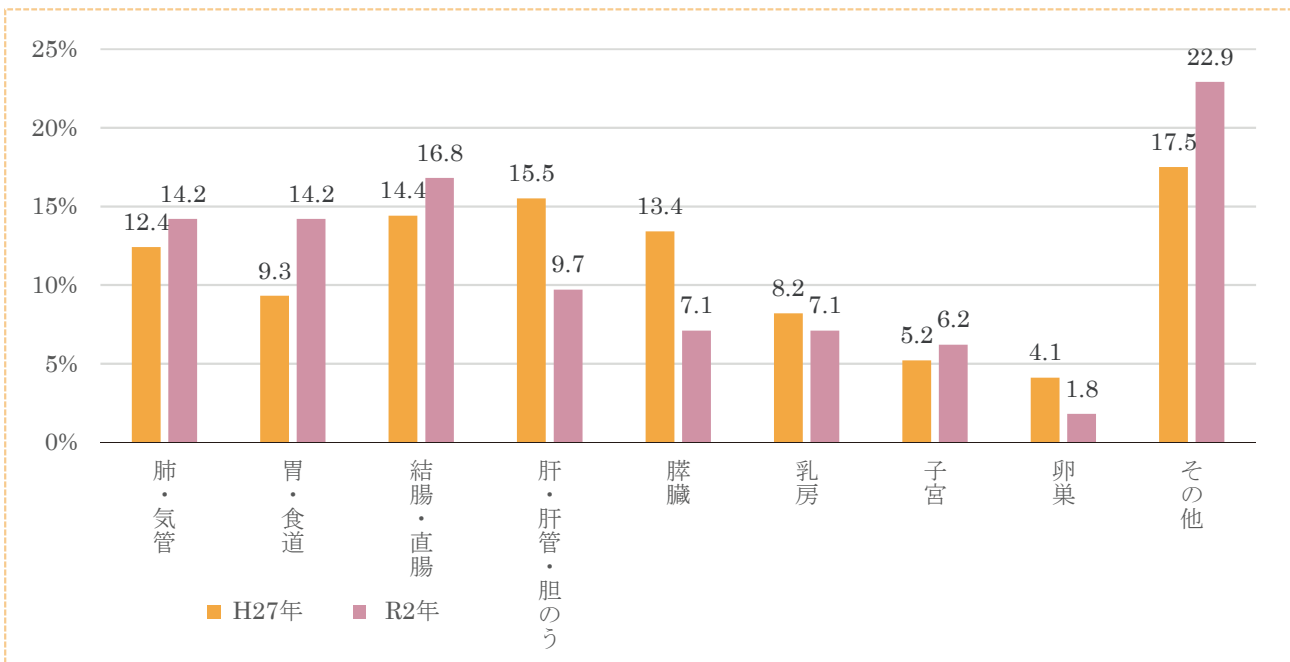
本市の悪性新生物部位別の死亡状況を令和2年と平成27年で比較すると、男性「結腸・直腸」が5.6ポイント、「膵臓」が1.8ポイント下がった一方、「肺・気管」が0.6ポイント、「前立腺」が3.5ポイント上昇しました。

女性は「肝・肝管・胆のう」が5.8ポイント、「膵臓」が6.3ポイント、「卵巣」が2.3ポイント減少しましたが、「肺・気管」が1.8ポイント、「胃・食道」が4.9ポイント、「結腸・直腸」が2.4ポイント上昇しました。

#### 悪性新生物部位別死亡の状況（伊勢原市 男性）



#### 悪性新生物部位別死亡の状況（伊勢原市 女性）



資料：平成27年・令和2年神奈川県衛生統計年報。



#### (4) 伊勢原市におけるがんの部位別検診受診率の推移

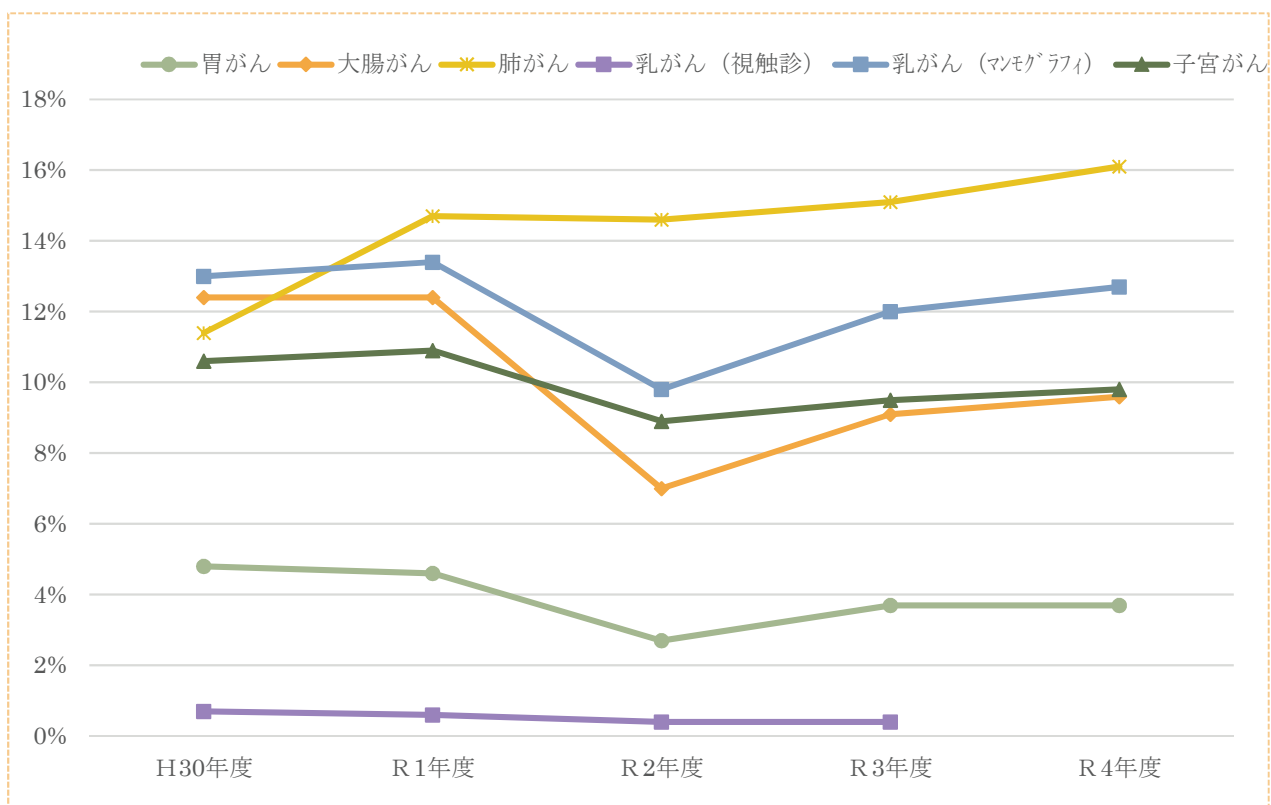
本市におけるがんの部位別検診受診率は、令和2年度に全ての検診が低下していました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えがあったと考えられます。令和3年度には、乳がん（視触診）を除く全ての検診は上昇しましたが、令和5年度を目標とする神奈川県がん対策推進計画が目標とする50%より低い状況です。

伊勢原市におけるがんの部位別検診受診率の推移

(単位：%)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
胃がん	4.8	4.6	2.7	3.7	3.7
大腸がん	12.4	12.4	7.0	9.1	9.6
肺がん	11.4	14.7	14.6	15.1	16.1
乳がん（視触診）	0.7	0.6	0.4	0.4	-
乳がん（マンモグラフィ）	13.0	13.4	9.8	12.0	12.7
子宮がん	10.6	10.9	8.9	9.5	9.8

令和4年度から乳がん（視触診）は廃止。

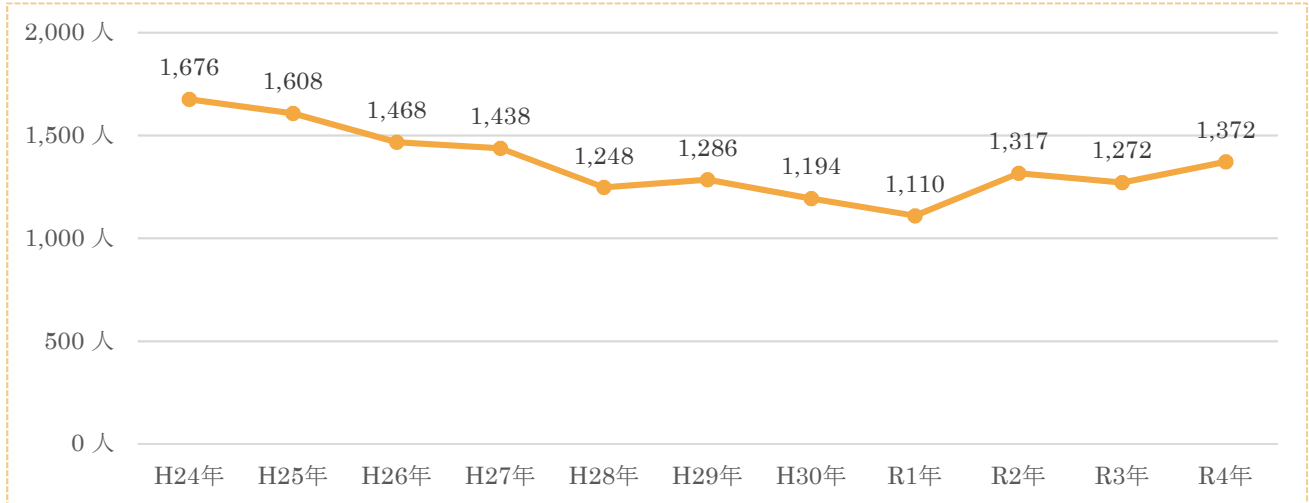


資料：保健事業概要（伊勢原市健康づくり課作成）。

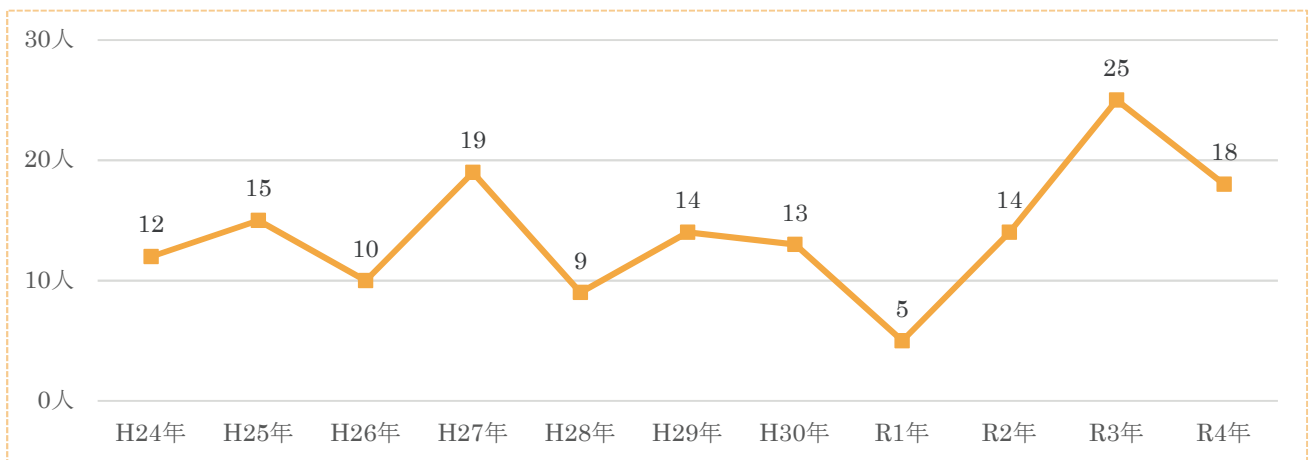
### (5) 自殺者の推移

神奈川県は令和元年までは減少傾向にありましたが、その後は増加傾向にあります。本市は年によって変動があり、令和2年と令和3年は増加傾向にありましたが、令和4年は減少しました。

#### 神奈川県の自殺者の推移



#### 伊勢原市の自殺者の推移



資料：自殺の統計：地域における自殺の基礎資料（内閣府）。

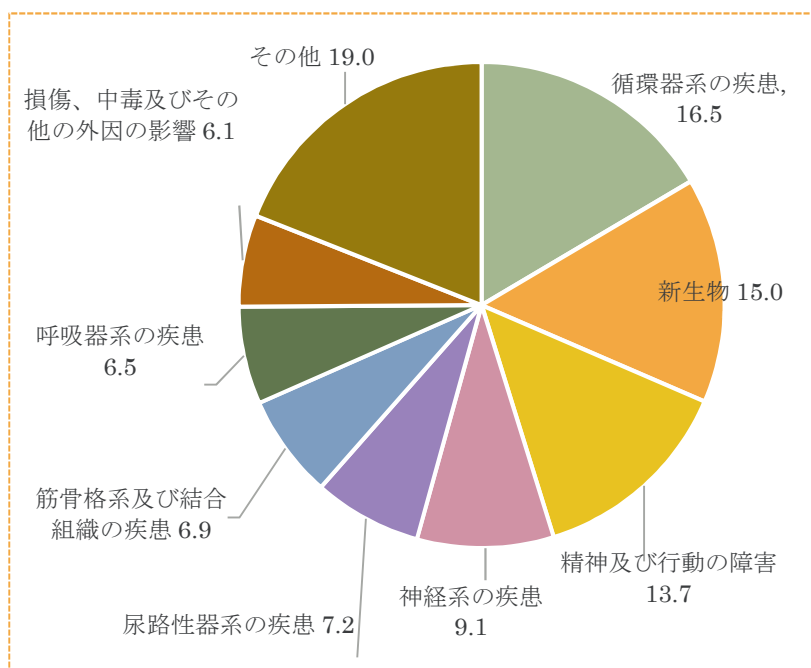
### 3 疾病状況

#### (1) 主要疾病医療費の状況（国民健康保険事業）

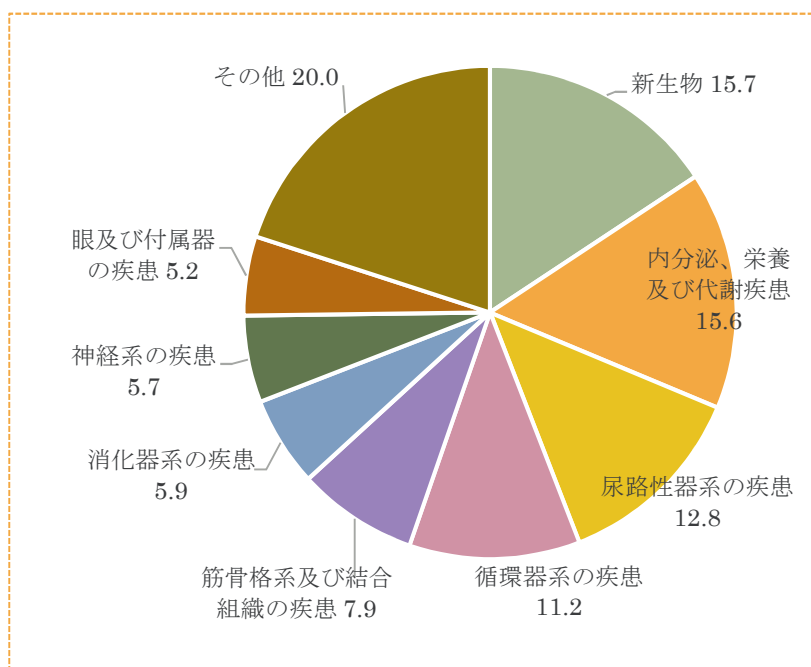
本市では、入院での医療費は「循環器系の疾患」、「新生物」、「精神及び行動の障害」の3疾患で約半分を占め、外来では多い順番で「新生物」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「尿路性病系の疾患」、「循環器系の疾患」となっており、入院、外来ともに「新生物」の割合が多くなっています。

#### 令和4年度 伊勢原市疾病大分類別医療費割合（単位%）

##### 【入院】



##### 【外来】

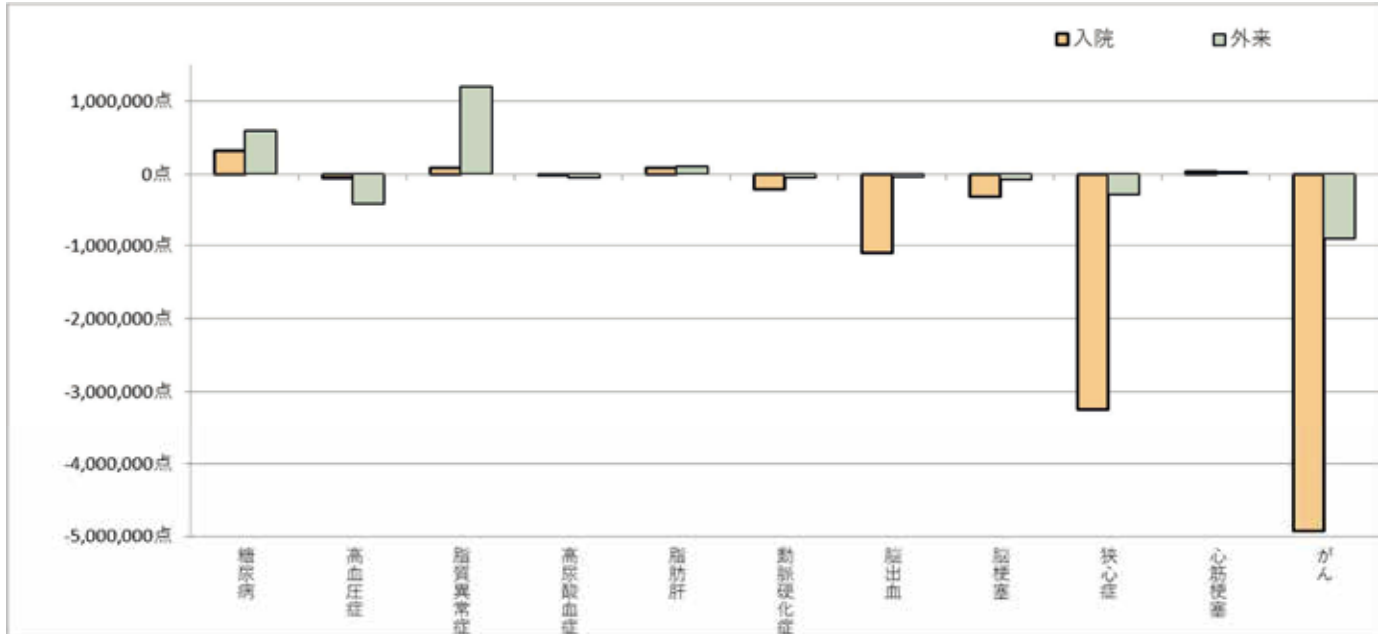


資料：KDBシステム国保連合会作成資料。

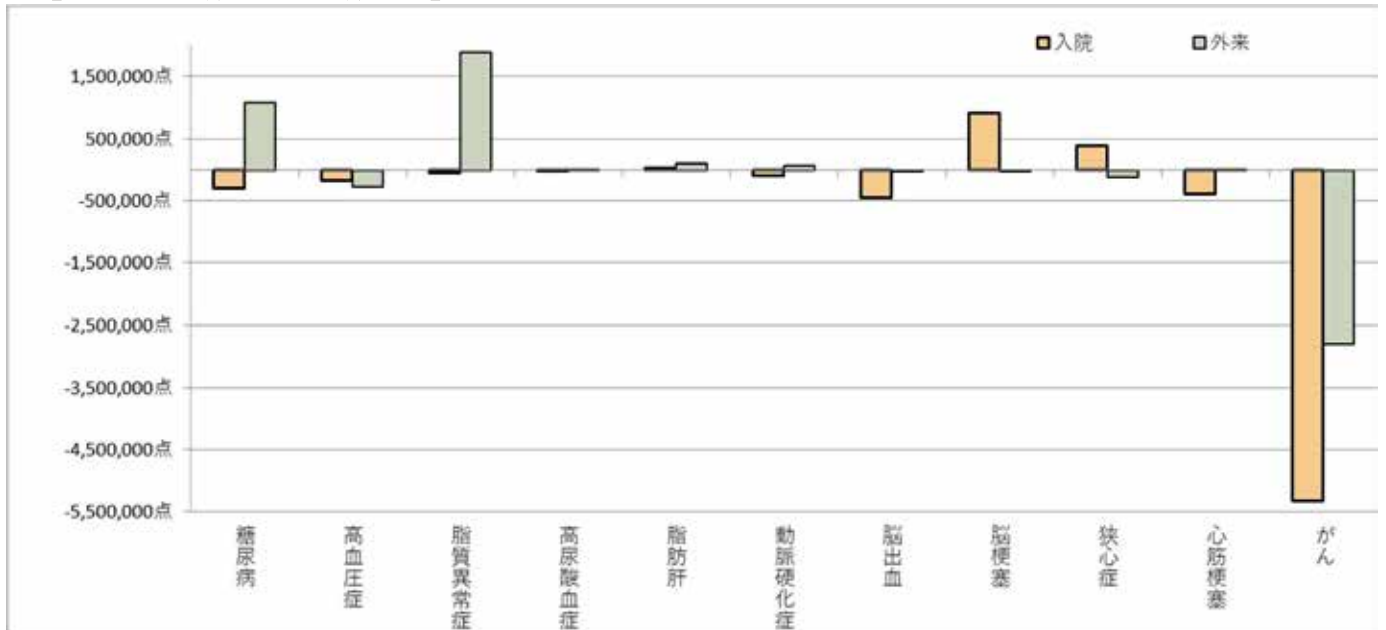
(2) 疾病別医療費分析 生活習慣病 (国民健康保険事業)

年齢構成の影響を受けない本市の「標準化医療費」を神奈川県と比較すると、男性は入院では糖尿病、外来では脂質異常症が多く、女性は入院では脳梗塞、狭心症、外来では脂質異常症、糖尿病が多くなっています。

令和3年度疾病別医療費 生活習慣病 標準化医療費\*2の差 (神奈川県と比較)  
【男性 20歳から74歳まで】



【女性 20歳から74歳まで】



資料：KDBシステム【疾病別医療費分析 (生活習慣病)】より計算。

\*2 標準化医療費とは：地域により人口の年齢構成比が異なり、全国一律に医療費の総額を比較することができないため、年齢の影響を補正し、年齢構成が同一と仮定して医療費の総額を計算し、医療費から見た健康状態を比較できるようにするものです。

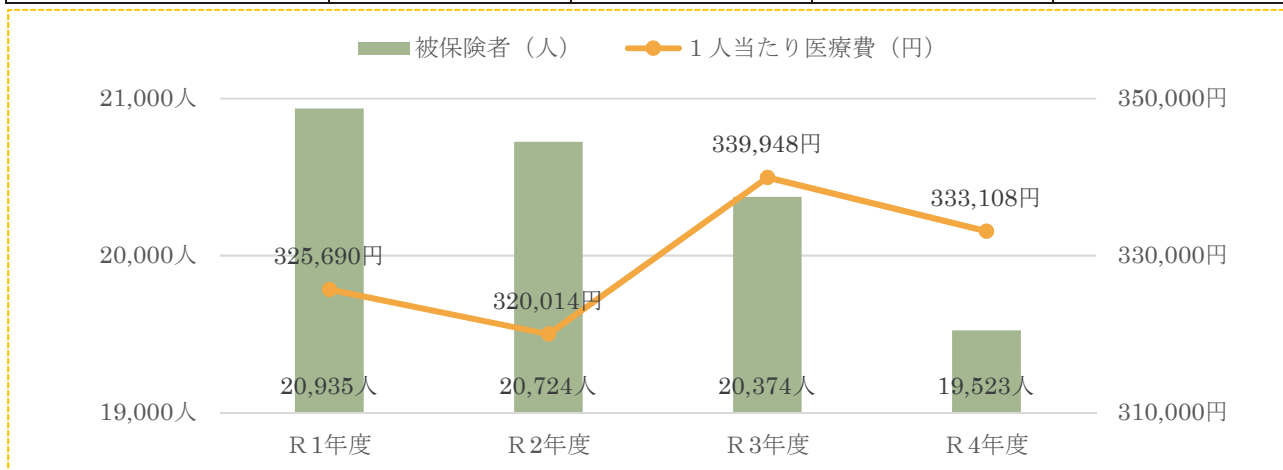
表の見方：0点は神奈川県を示しており、0点を超えている項目は神奈川県より伊勢原市の医療費の医療費が高く、下であると伊勢原市の医療費が低いことを示しています。

### (3) 国民健康保険被保険者と医療費の推移

本市の国民健康保険被保険者は年々減少していますが、1人当たりの医療費は増加傾向です。

#### 国民健康保険被保険者と医療費の推移

伊勢原市	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
被保険者(人)	20,935	20,724	20,374	19,523
医療費(円)	6,818,315,800	6,631,979,030	6,926,095,090	6,503,269,200
1人当たり医療費(円)	325,690	320,014	339,948	333,108



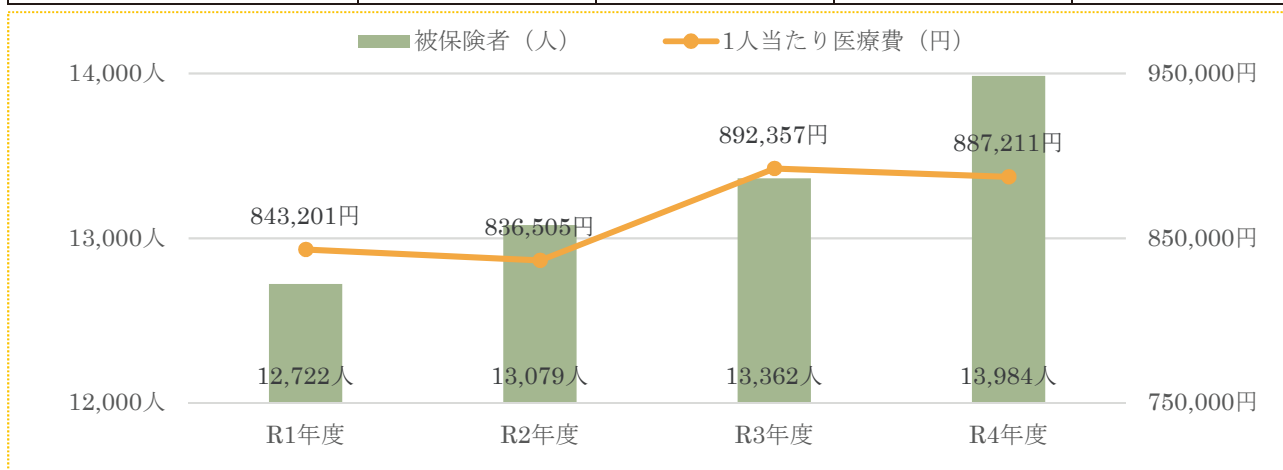
資料：KDBシステム国保連合会作成資料。

### (4) 後期高齢者医療制度被保険者と医療費の推移

本市の被保険者数は年々増加しており、1人当たりの医療費も増加傾向でしたが、令和4年度は減少しています。

#### 後期高齢者医療制度被保険者と医療費の推移

伊勢原市	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
被保険者(人)	12,722	13,079	13,362	13,984
医療費(円)	10,756,071,337	10,944,518,591	11,942,094,201	12,421,515,501
1人当たり医療費(円)	843,201	836,505	892,357	887,211



資料：令和1～令和4年度神奈川県後期高齢者医療事業報告書。

## 4 平均寿命と健康寿命

### (1) 平均寿命

本市の平均寿命は、全国平均、神奈川県を上回っています。また、神奈川県の平均寿命は延びており、男女ともに全国平均より高くなっています。

#### 神奈川県・伊勢原市の平均寿命

区 分	H27年		R2年	
	男 性	女 性	男 性	女 性
国（歳）	80.75	86.99	81.64	87.74
神奈川県（歳）	81.32	87.24	82.04	87.89
伊勢原市（歳）	81.70	87.40	82.20	88.10

資料：厚生労働省「簡易生命表」「都道府県別生命表」「市区町村別生命表」。

### 「平均寿命」と「健康寿命」、「65歳からの平均自立期間」との違い

- ◎「平均寿命」：0歳児が平均してあと何年生きられるかという指標です。
- ◎「健康寿命」：0歳を基準とし、日常生活に制限のない期間の平均です。
- ◎「65歳からの平均自立期間」：神奈川県が算出し、65歳を基準とし、日常生活動作が自立している期間の平均で「要介護2～5の認定を受けていない人」のデータを使用しています。
- ◎「平均余命」：ある年齢に達した人たちが、その後平均して何年生きられるかを示したものです。

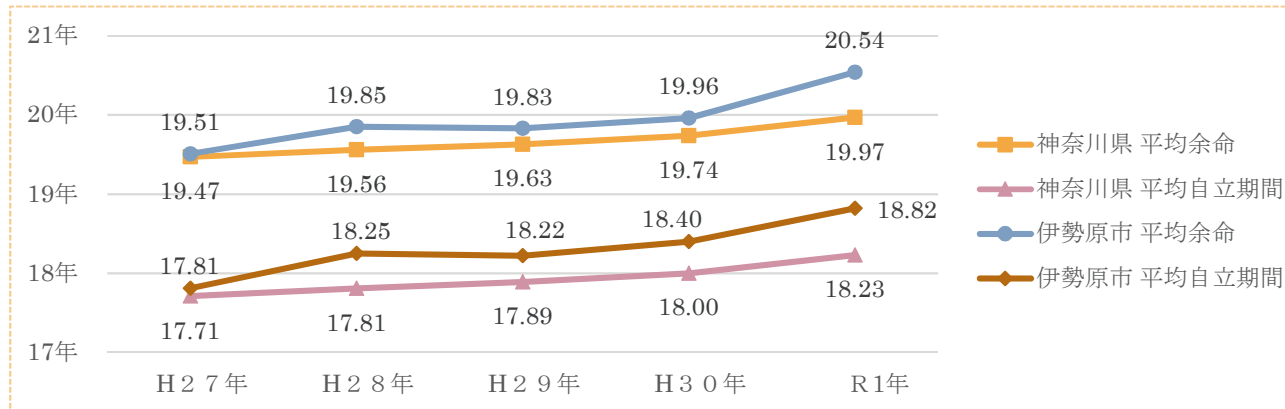
今後、平均寿命の延伸とともに、健康な期間だけでなく、不健康な期間も延びることが予想されます。市民の健康づくりの一層の推進を図り、平均寿命の延び以上に健康寿命を延ばす（不健康な状態になる時点を遅らせる）ことは、個人の生活の向上とともに、社会負担を軽減する観点からも重要です。

## (2) 65歳からの平均自立期間

男性は、神奈川県、本市ともにゆるかやに上昇しており、本市は平均余命、平均自立期間ともに県と比較して高く経過しており、女性は、県とほぼ同様かもしくは上回って推移しています。

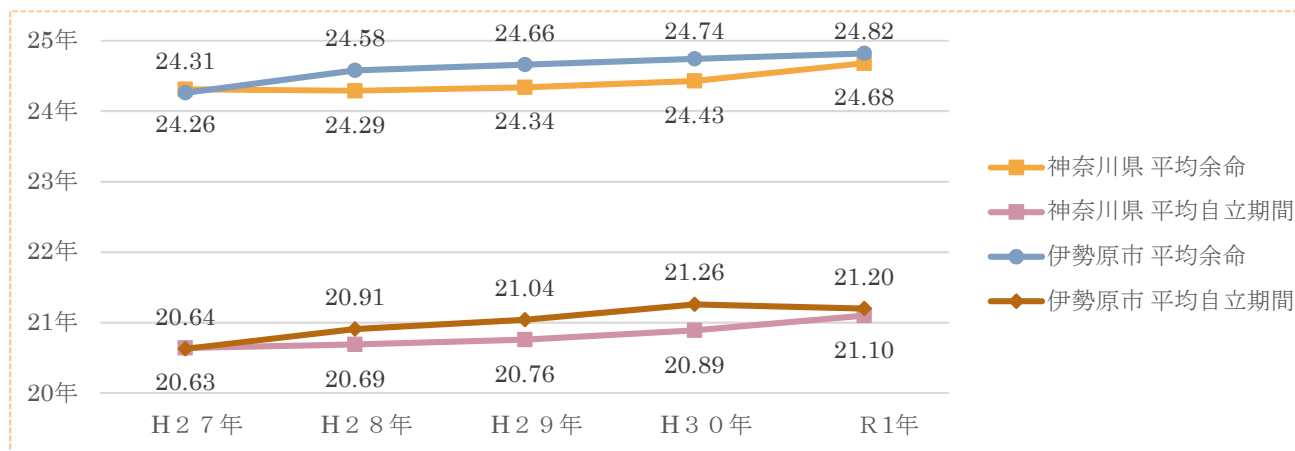
## 神奈川県・伊勢原市の65歳からの平均自立期間（男性）

区分		H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
神奈川県	平均余命(年)	19.47	19.56	19.63	19.74	19.97
	平均自立期間(年)	17.71	17.81	17.89	18.00	18.23
伊勢原市	平均余命(年)	19.51	19.85	19.83	19.96	20.54
	平均自立期間(年)	17.81	18.25	18.22	18.40	18.82



## 神奈川県・伊勢原市の65歳からの平均自立期間（女性）

区分		H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
神奈川県	平均余命(年)	24.31	24.29	24.34	24.43	24.68
	平均自立期間(年)	20.64	20.69	20.76	20.86	21.10
伊勢原市	平均余命(年)	24.26	24.58	24.66	24.74	24.82
	平均自立期間(年)	20.63	20.91	21.04	21.26	21.20



資料：神奈川県作成「65歳からの平均自立期間」市町村別一覧。

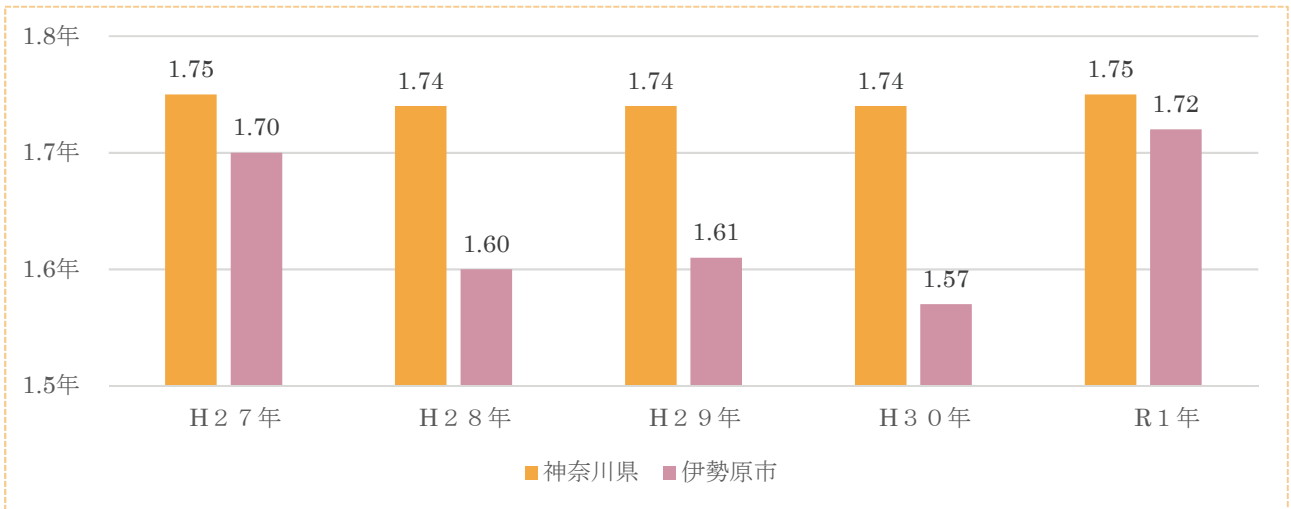
### (3) 平均余命と平均自立期間との差

平均寿命と平均自立期間の差は、数値が低いほど介護を必要とする期間が短いことを示しています。

本市の平均余命と平均自立期間との差は、男性は神奈川県より低く推移しています。女性は年によって差がありますが、令和元年は神奈川県より高くなっています。

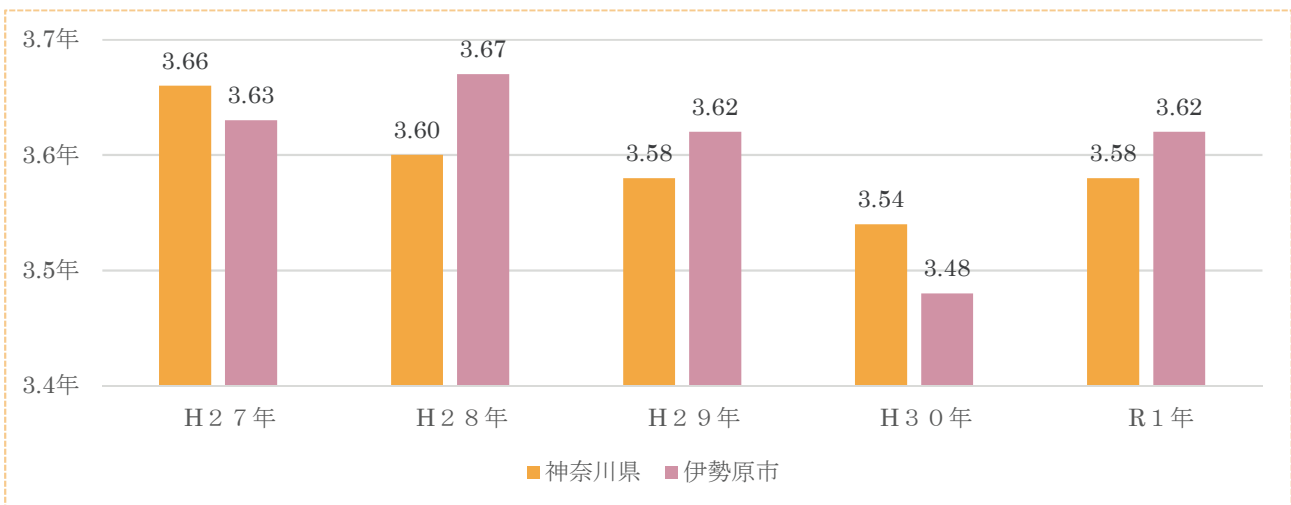
#### 平均余命と平均自立期間との差（男性）

区分	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
神奈川県(年)	1.75	1.74	1.74	1.74	1.75
伊勢原市(年)	1.70	1.60	1.61	1.57	1.72



#### 平均余命と平均自立期間との差（女性）

区分	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
神奈川県(年)	3.66	3.60	3.58	3.54	3.58
伊勢原市(年)	3.63	3.67	3.62	3.48	3.62



資料：神奈川県作成「65歳からの平均自立期間」市町村別一覧。



## 5 乳幼児健康診査

### (1) 4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査

本市の乳幼児健康診査受診率は年度により変動がありますが、上昇傾向で推移しており、100%に近い状況です。

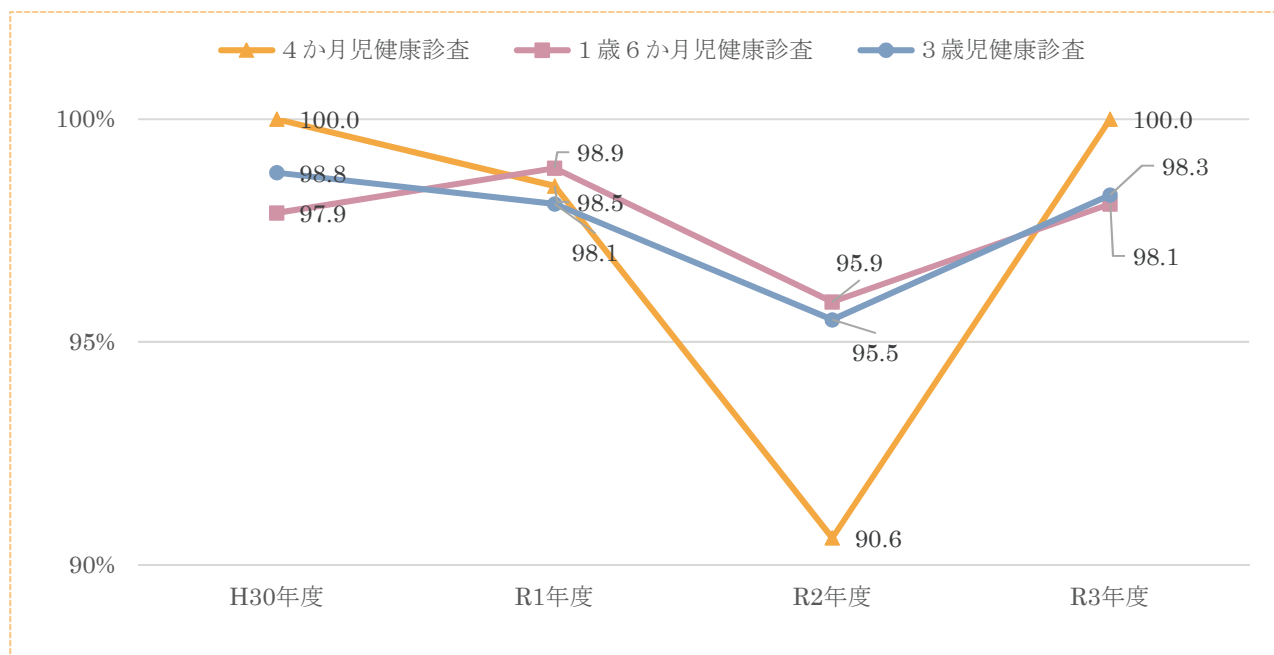
#### 4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査対象者数と受診者数

(単位：人)

区分	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度	
	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数
4か月児健康診査	735	735	710	699	722	654	621	622
1歳6か月児健康診査	755	739	718	710	734	704	695	682
3歳児健康診査	813	803	739	725	758	724	707	695

資料：厚生労働省 平成30～令和3年度地域保健・健康増進事業報告。

#### 4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査受診率の推移



資料：厚生労働省 平成30～令和3年度地域保健・健康増進事業報告より算出。

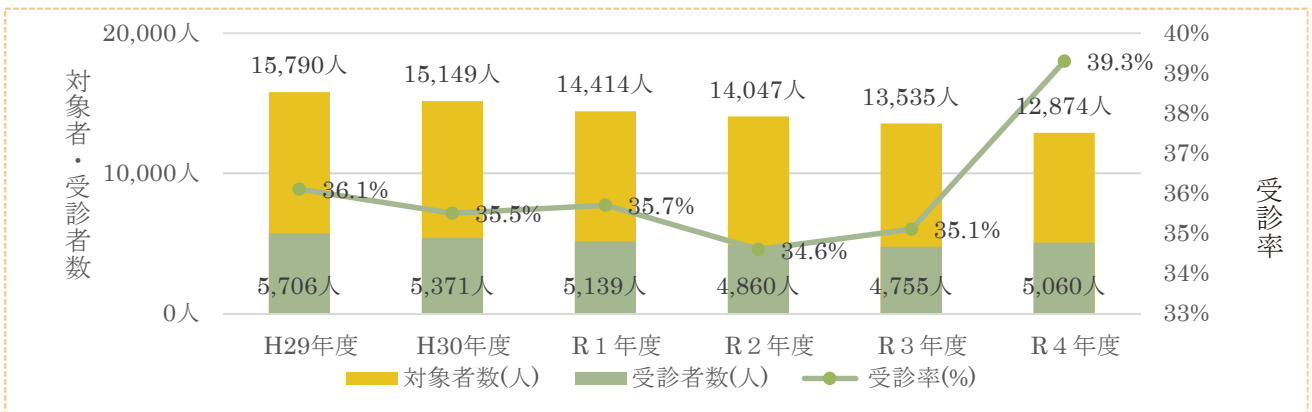
## 6 特定健康診査・特定保健指導

### (1) 特定健康診査受診率

本市の国民健康保険特定健康診査受診率は上昇傾向で推移しており、神奈川県内の市町村の中では、5番目に高い受診率となっています。

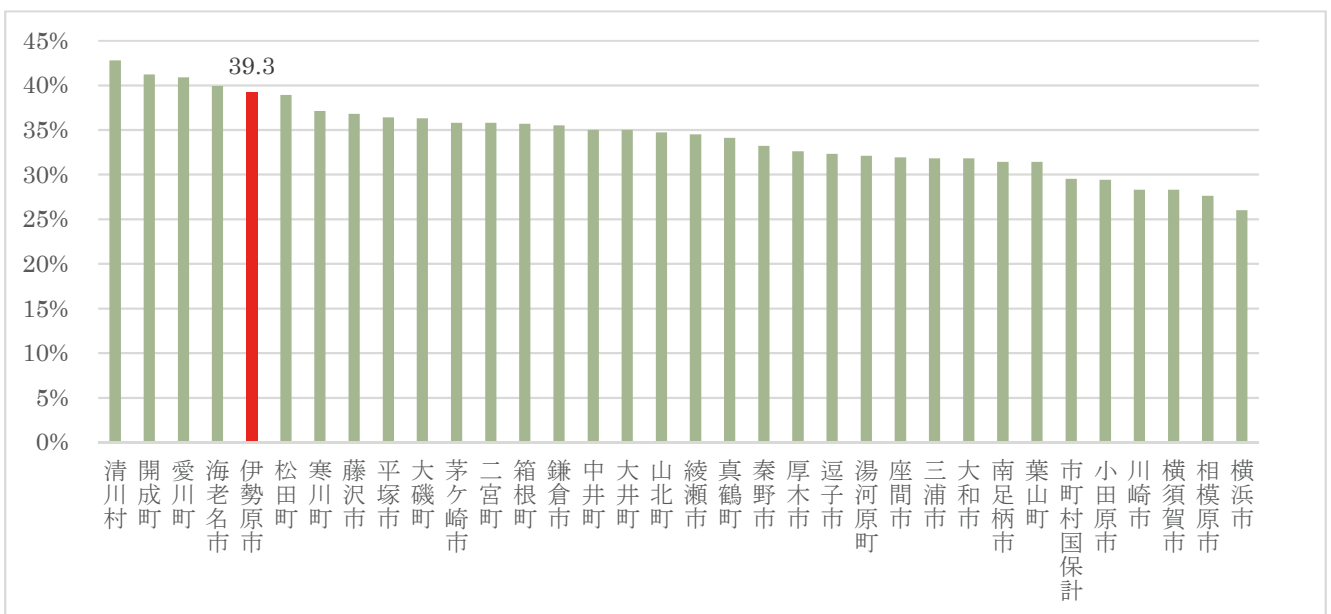
#### 伊勢原市国民健康保険特定健康診査受診率

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
H29年度	15,790	5,706	36.1
H30年度	15,149	5,371	35.5
R1年度	14,414	5,139	35.7
R2年度	14,047	4,860	34.6
R3年度	13,535	4,755	35.1
R4年度	12,874	5,060	39.3



資料：法定報告。

#### 令和4年度 国民健康保険特定健康診査受診率市町村比較



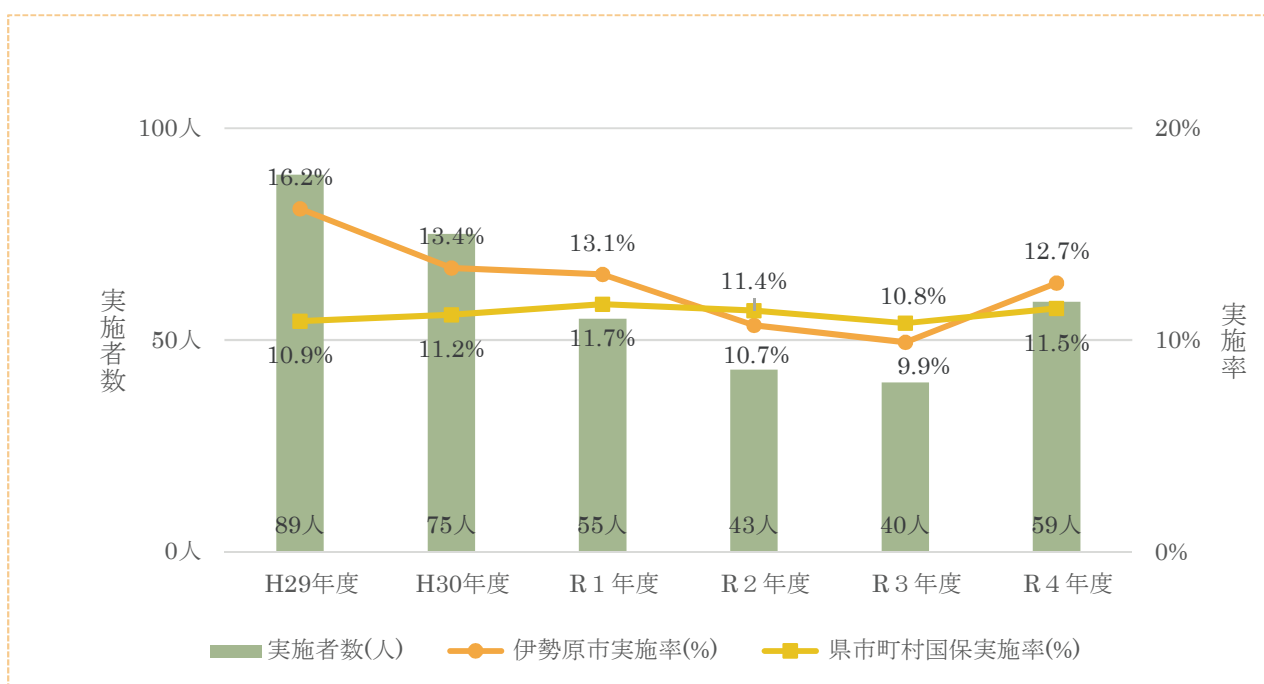
資料：国保連合会作成「法定報告」市町村別一覧。

## (2) 特定保健指導実施率

本市の国民健康保険特定保健指導実施率は平成30年度から低下傾向にありましたが、令和4年度は前年度よりも上昇し、神奈川県市町村国保実施率を上回りました。

## 伊勢原市国民健康保険特定保健指導実施率

年度	対象者数(人)	実施者数(人)	伊勢原市実施率(%)	県市町村国保実施率(%)
H29年度	550	89	16.2	10.9
H30年度	559	75	13.4	11.2
R1年度	421	55	13.1	11.7
R2年度	402	43	10.7	11.4
R3年度	403	40	9.9	10.8
R4年度	463	59	12.7	11.5



資料：法定報告。

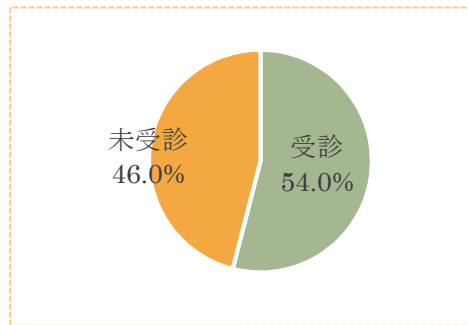
## (3) 特定健康診査結果による受診状況

令和3年度国民健康保険特定健康診査の結果、医療機関をすぐに受診する必要がある人（即受診レベルの人）のうち、医療機関未受診者の割合は、収縮期血圧で46.1%、拡張期血圧で55.3%、LDLコレステロール値で62.1%と多くなっています。

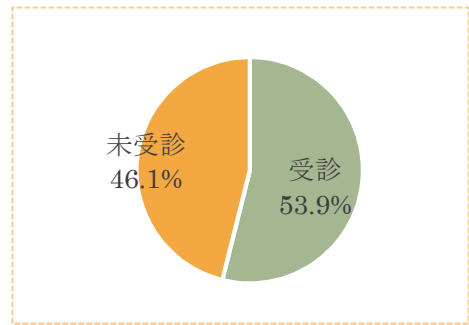
## 令和3年度 収縮期血圧

区分	受診勧奨値以上(140~159mmHg)		即受診レベル(160mmHg以上)	
医療機関受診	717人	54.0%	211人	53.9%
医療機関未受診	612人	46.0%	181人	46.1%
合計	1,329人		392人	

受診勧奨値以上



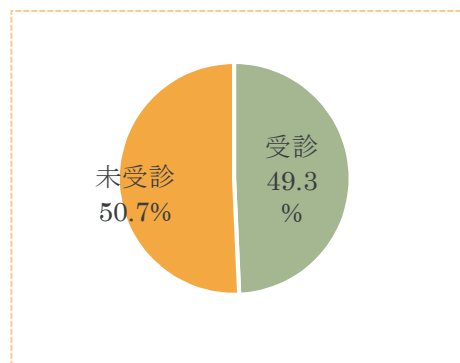
即受診レベル



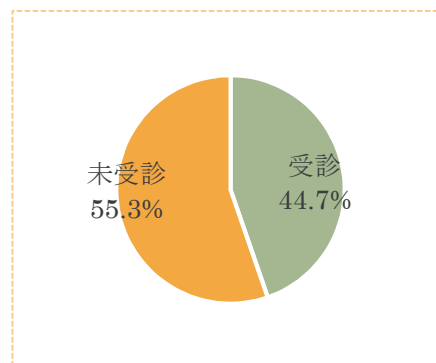
## 令和3年度 拡張期血圧

区分	受診勧奨値以上(90~99mmHg)		即受診レベル(100mmHg以上)	
医療機関受診	273人	49.3%	80人	44.7%
医療機関未受診	281人	50.7%	99人	55.3%
合計	554人		179人	

受診勧奨値以上



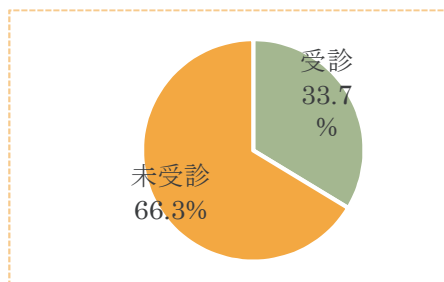
即受診レベル



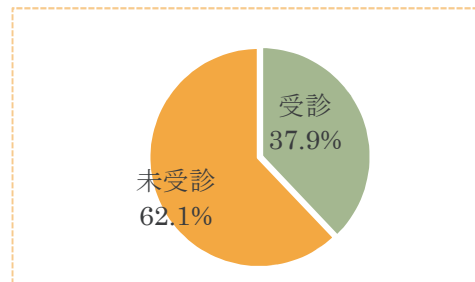
## 令和3年度 LDLコレステロール値

区分	受診勧奨値以上(140~179mg/dl)		即受診レベル(180 mg/dl 以上)	
医療機関受診	549 人	33.7%	116 人	37.9%
医療機関未受診	1,081 人	66.3%	190 人	62.1%
合計	1,630 人		306 人	

受診勧奨値以上



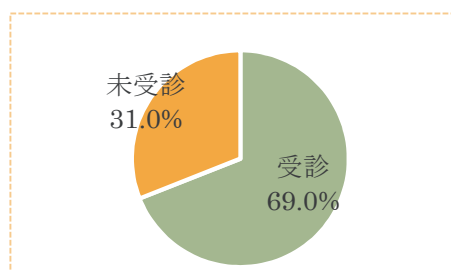
即受診レベル



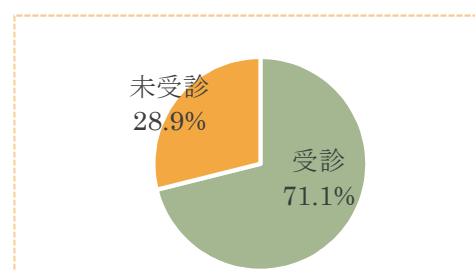
## 令和3年度 HbA1c値

区分	受診勧奨値以上(6.5~8.3%)		即受診レベル(8.4%以上)	
医療機関受診	343 人	69.0%	27 人	71.1%
医療機関未受診	154 人	31.0%	11 人	28.9%
合計	497 人		38 人	

受診勧奨値以上



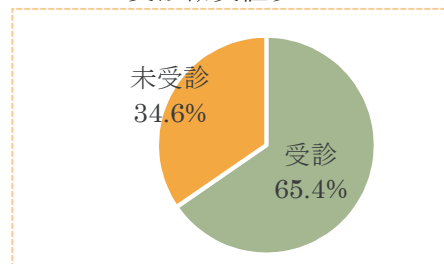
即受診レベル



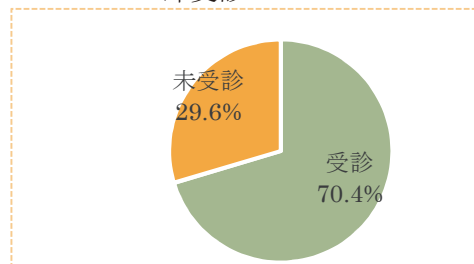
## 令和3年度 空腹時血糖値

区分	受診勧奨値以上(126~159mg/dl)		即受診レベル(160mg/dl 以上)	
医療機関受診	166 人	65.4%	38 人	70.4%
医療機関未受診	88 人	34.6%	16 人	29.6%
合計	254 人		54 人	

受診勧奨値以上



即受診レベル



資料：KDBシステム国保連合会作成。

## 7 歯科保健の状況

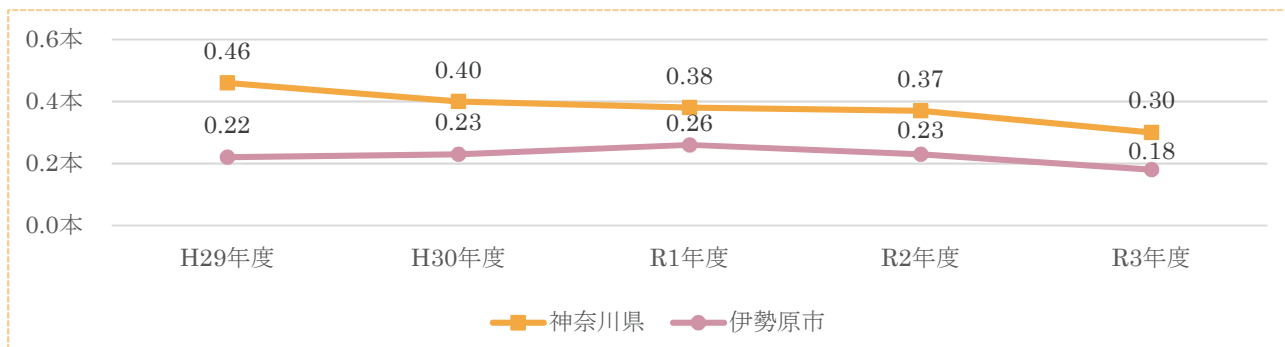
### (1) 3歳児健康診査におけるむし歯有病率の変化

本市の有病率、1人平均むし歯数は、神奈川県平均より大幅に低く推移していますが、重度むし歯構成割合は、神奈川県平均より高い年度があるなど、年度により差があります。

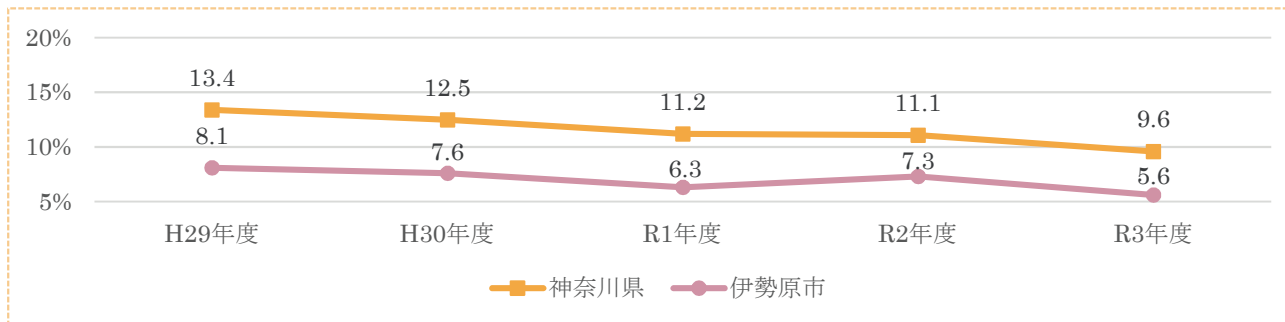
### 3歳児健康診査におけるむし歯有病率

区分		対象者数 (人)	受診者数 (人)	有病者数 (人)	むし歯総数 (本)	受診率 (%)	有病率 (%)	平均むし歯 (本/人)
神奈川県	H 29年度	16,074	15,212	2,031	6,954	94.6	13.4	0.46
	H 30年度	16,124	15,364	1,928	6,173	95.3	12.5	0.40
	R 1年度	14,957	14,210	1,594	5,400	95.0	11.2	0.38
	R 2年度	15,033	13,998	1,551	5,164	93.1	11.1	0.37
	R 3年度	15,040	14,337	1,377	4,372	95.3	9.6	0.30
伊勢原市	H 29年度	799	779	63	171	97.5	8.1	0.22
	H 30年度	813	803	61	186	98.8	7.6	0.23
	R 1年度	739	725	46	185	98.1	6.3	0.26
	R 2年度	758	724	53	168	95.5	7.3	0.23
	R 3年度	707	695	39	125	98.3	5.6	0.18

### 3歳児健康診査一人平均むし歯数

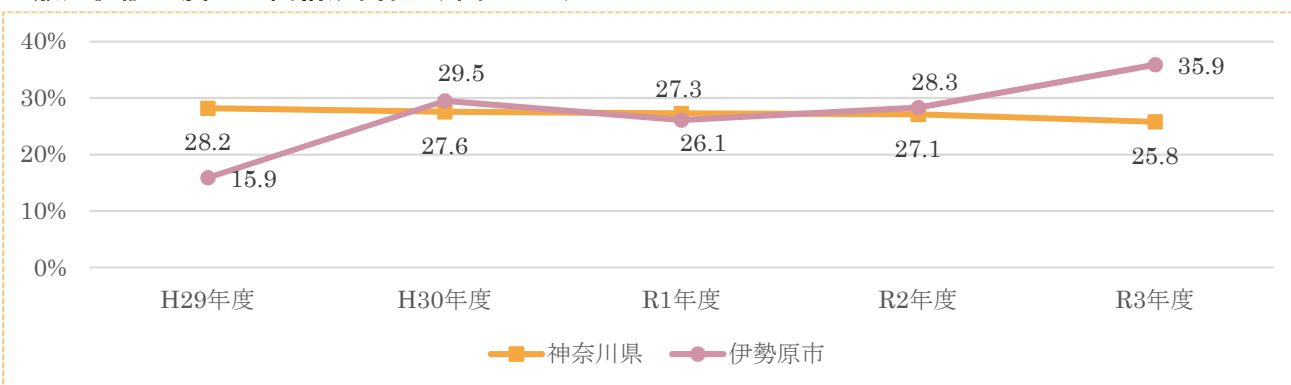


### 3歳児健康診査有病率



資料：平塚保健福祉事務所秦野センター年報。

### 3歳児健診重度むし歯構成割合（単位：％）\*3

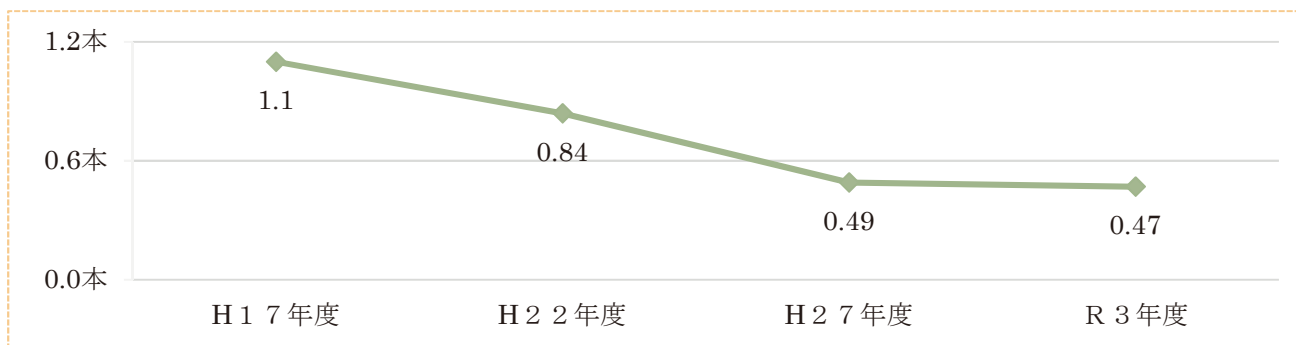


資料：平塚保健福祉事務所秦野センター年報。

#### （2）12歳児における1人平均むし歯数

本市では、年々低下しており、令和3年度の調査では、0.47本となっています。

#### 伊勢原市における12歳児1人平均むし歯数

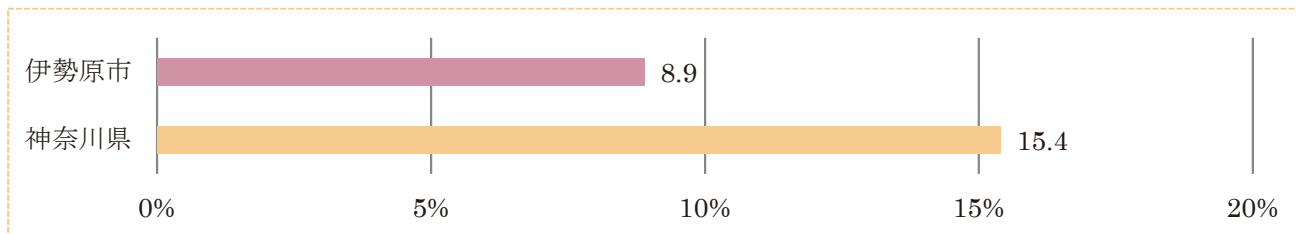


資料：神奈川県定期歯科検診結果に関する調査結果。

#### （3）中学生3学年における歯肉に異常のある者の割合

歯肉に異常のある人の割合は、令和3年度では8.9%であり、神奈川県と比較すると低い割合となっています。

#### 令和3年度中学3学年における歯肉に異常のある者の割合



資料：神奈川県定期歯科検診結果に関する調査結果。

\*3 重度むし歯構成割合とは、むし歯がある方の中で、厚生省分類型でB型とC型を合わせた人数の割合。

【参考】厚生省分類

A型：上顎前歯部のみ、または臼歯のみにむし歯がある。

B型：臼歯部および上顎前歯部にむし歯がある。

C型：臼歯部および上下顎前歯部すべてにむし歯がある。

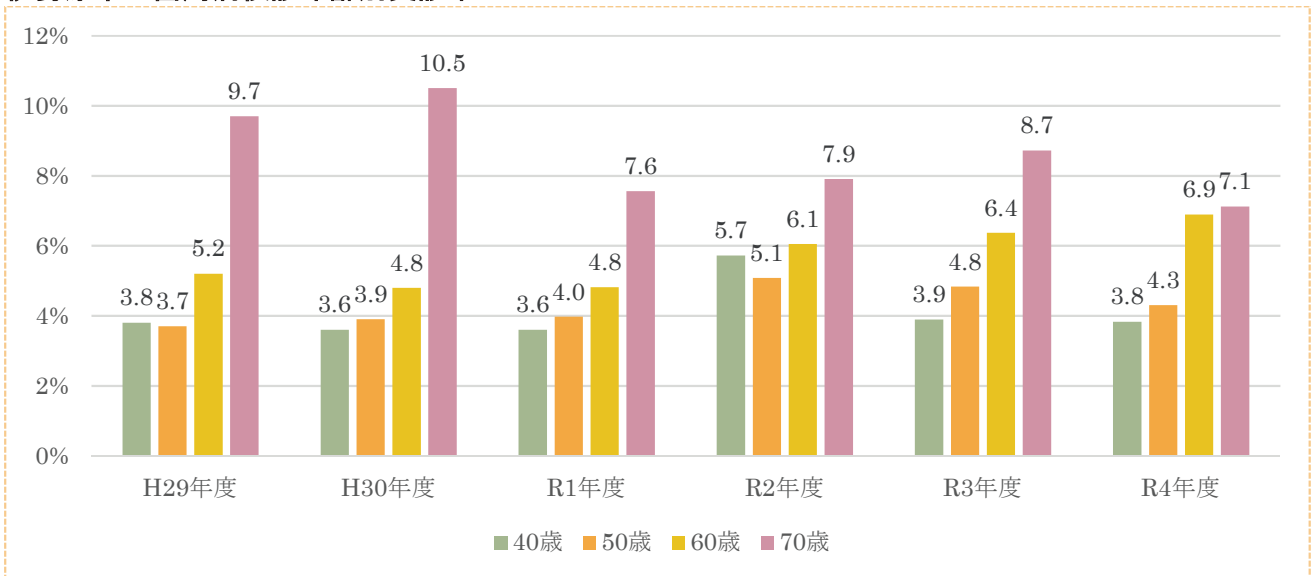
(4) 歯周病検診受診率

本市の歯周病検診の年齢別受診率は、年齢が高くなるにしたがい受診率が上昇する傾向にあり、40歳、50歳の受診率が低くなっています。

伊勢原市の歯周病検診年齢別受診率

対象 年齢		年度					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
40歳	対象者(人)	1,415	1,373	1,363	1,189	1,184	1,226
	受診者(人)	54	50	49	68	46	47
	受診率(%)	3.8	3.6	3.6	5.7	3.9	3.8
50歳	対象者(人)	1,590	1,627	1,587	1,634	1,678	1,791
	受診者(人)	59	64	63	83	81	77
	受診率(%)	3.7	3.9	4.0	5.1	4.8	4.3
60歳	対象者(人)	1,030	1,086	1,103	1,140	1,209	1,249
	受診者(人)	52	52	53	69	77	86
	受診率(%)	5.2	4.8	4.8	6.1	6.4	6.9
70歳	対象者(人)	1,645	1,589	1,522	1,453	1,307	1,179
	受診者(人)	160	166	115	115	114	84
	受診率(%)	9.7	10.5	7.6	7.9	8.7	7.1
合計	対象者(人)	5,680	5,675	5,575	5,416	5,378	5,445
	受診者(人)	326	332	280	335	318	294
	受診率(%)	5.7	5.9	5.0	6.2	5.9	5.4

伊勢原市の歯周病検診年齢別受診率



資料：保健事業概要（伊勢原市健康づくり課作成）。



## (5) 歯周病検診受診者の指導区分別状況

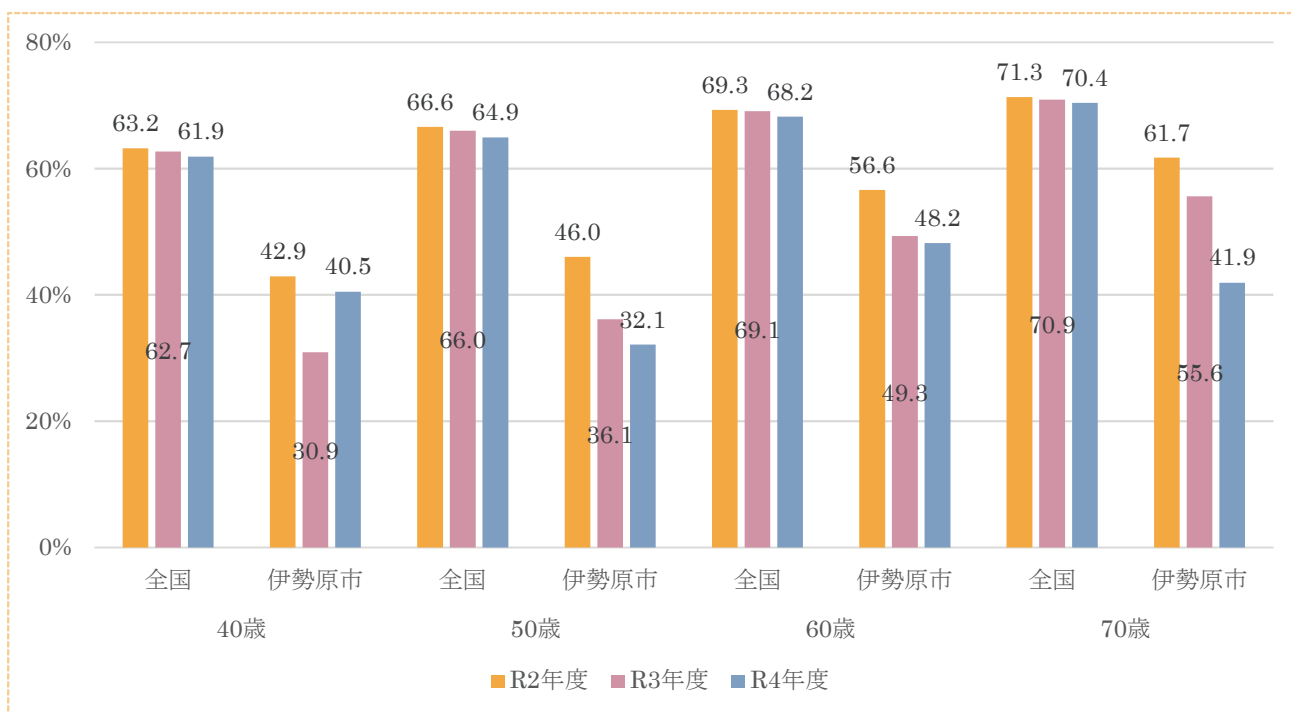
歯周病検診受診者の指導区分（要精密検査者、要指導者、異常認めず）では、本市はどの年代においても、要精密検査者の割合が国より低い傾向にあり、令和4年度では50歳の要精密検査者の割合が、他の年代に比較して最も低くなっています。

## 歯周病検診受診者の指導区分別割合

区分	R2年度			R3年度			R4年度			
	要精密検査者 (%)	要指導者 (%)	異常認めず (%)	要精密検査者 (%)	要指導者 (%)	異常認めず (%)	要精密検査者 (%)	要指導者 (%)	異常認めず (%)	
40歳	国	63.2	25.6	11.1	62.7	26.4	10.9	61.9	26.9	11.2
	伊勢原市	42.9	49.0	8.1	30.9	51.5	17.6	40.5	43.3	16.2
50歳	国	66.6	23.3	10.1	66.0	24.2	9.8	64.9	25.0	10.1
	伊勢原市	46.0	34.9	19.1	36.1	48.2	15.7	32.1	57.2	10.7
60歳	国	69.3	21.0	9.7	69.1	21.5	9.4	68.2	22.0	9.8
	伊勢原市	56.6	33.9	9.4	49.3	34.8	15.9	48.2	42.9	8.9
70歳	国	71.3	18.3	10.3	70.9	18.8	10.3	70.4	19.0	10.6
	伊勢原市	61.7	33.9	4.4	55.6	35.7	8.7	41.9	54.6	3.5
全体	国	68.0	21.7	10.3	67.4	22.5	10.1	66.5	23.0	10.4
	伊勢原市	63.9	36.8	9.3	44.5	41.8	13.7	40.9	50.6	4.5

資料：厚生労働省令和2～4年度地域保健・健康増進事業報告。

## 要精密検査者の割合



資料：厚生労働省令和2～4年度地域保健・健康増進事業報告。

## (6) 口腔がん検診

本市では、秦野伊勢原歯科医師会が実施する口腔がん検診の事業費を補助し、毎年「歯と口の健康週間（6月）」に実施しています。

口腔がんに関する意識を啓発するとともに、口腔がんの早期発見、早期治療に努めています。

### 口腔がん検診実施状況

(単位：人)

区分		R2年度	R3年度	R4年度
申込者数			18	21
受診者数			18	18
結果	異常なし	コロナ禍のため 実施なし	14	16
	要精密検査		4	1
	経過観察		0	1

資料：保健事業概要（伊勢原市健康づくり課作成）。

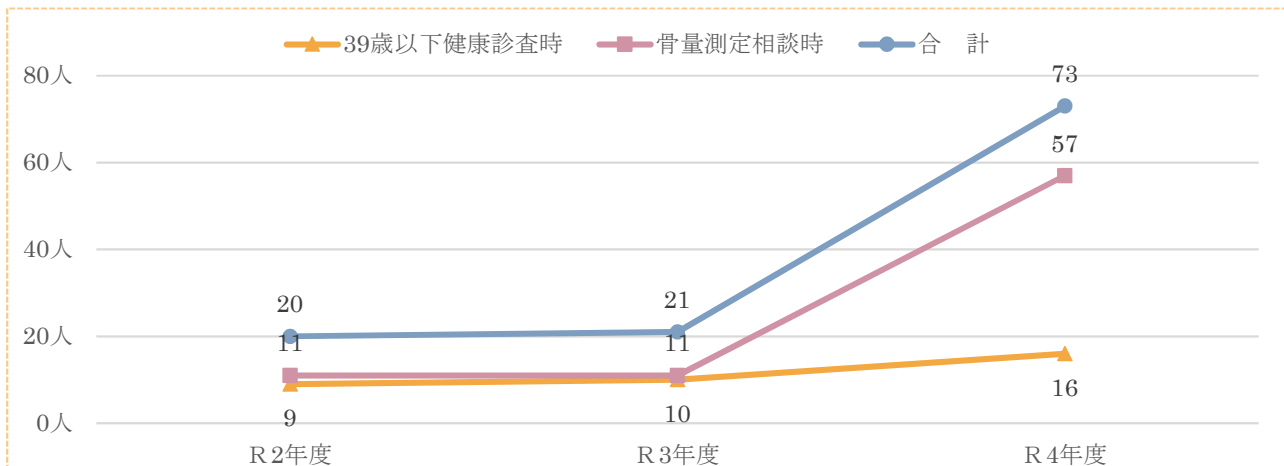
## (7) 歯科衛生士による歯科相談

本市では、39歳以下健康診査事業や骨量測定会に併せて、歯科衛生士による歯科相談を実施し、気軽に歯や口腔のことを相談できる場を設定しています。

過去3年間では、実施回数・参加人数ともに増加傾向です。

### 歯科衛生士における歯科相談参加人数

区分	R2年度		R3年度		R4年度	
	回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)
39歳以下健康診査時	2	9	5	10	2	16
骨量測定相談会時	3	11	3	11	6	57
合計	5	20	8	21	8	73



資料：保健事業概要（伊勢原市健康づくり課作成）。

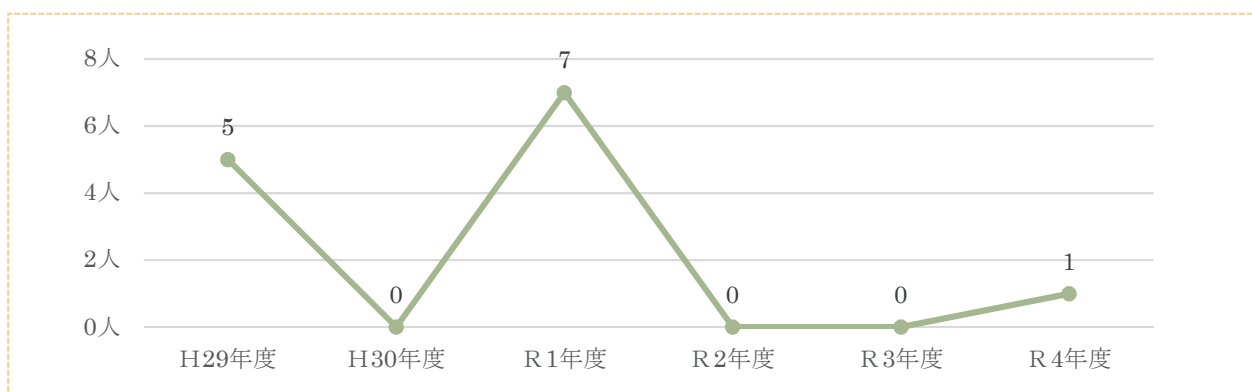
### (8) オーラルフレイル健口推進員養成事業（旧8020運動推進員養成事業）

神奈川県では、平成23年度から、8020運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりを推進するため、口腔機能向上等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施するオーラルフレイル健口推進員の養成を行っています。

また、オーラルフレイル健口推進員が、地域の人に健口体操を普及した人数は、令和4年度は、1028人となっています。

#### 伊勢原市におけるオーラルフレイル健口推進員養成事業 推進員養成実績

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
人数(人)	7	0	0	1



#### オーラルフレイル健口推進員が健口体操を普及した人数

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
人数(人)	1,062	294	408	1,028

資料：オーラルフレイル健口推進員活動実績報告。

### (9) 障害児者等歯科保健事業

神奈川県では、心身に障がいをもつ幼児等を対象に、歯科検診・保健指導・予防処置を実施し、さらに、多職種（歯科医師・歯科衛生士・管理栄養士・保健師）と連携し摂食機能発達相談を実施しています。

#### 療育歯科相談実施状況（伊勢原市・秦野市）

区分	開設回数 (回)	受診者延人数 (人)	実施内容内訳（延人数）		
			歯科検診 (人)	予防処置 (人)	摂食指導 (人)
R1年度	10	10(9)	5	1	5
R2年度	8	10(5)	7	4	3
R3年度	3	3(1)	3	3	0

注) 受診者延人数の( )は実人数である。

資料：平塚保健福祉事務所秦野センター年報。

## (10) 在宅歯科医療地域連携室の設置

秦野伊勢原歯科医師会は、神奈川県歯科医師会と神奈川県からの委託を受け、自宅や施設等で療養されている人と、歯科医院をつなぐ役割を担うために、秦野伊勢原在宅歯科医療地域連携室を平成27年11月に設置をしました。

利用者は令和2年度には22名と増加しましたが、その後は減少しました。

## 在宅歯科医療地域連携室の利用者の状況

(単位：人)

区 分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
歯科相談（電話相談のみ）	3	3	3	5
入れ歯について	4	12	2	4
歯が抜けた・折れた・痛み・虫歯	3	5	4	1
口腔内の確認	5	2	3	2
計	15	22	12	12

資料：秦野伊勢原歯科医師会。

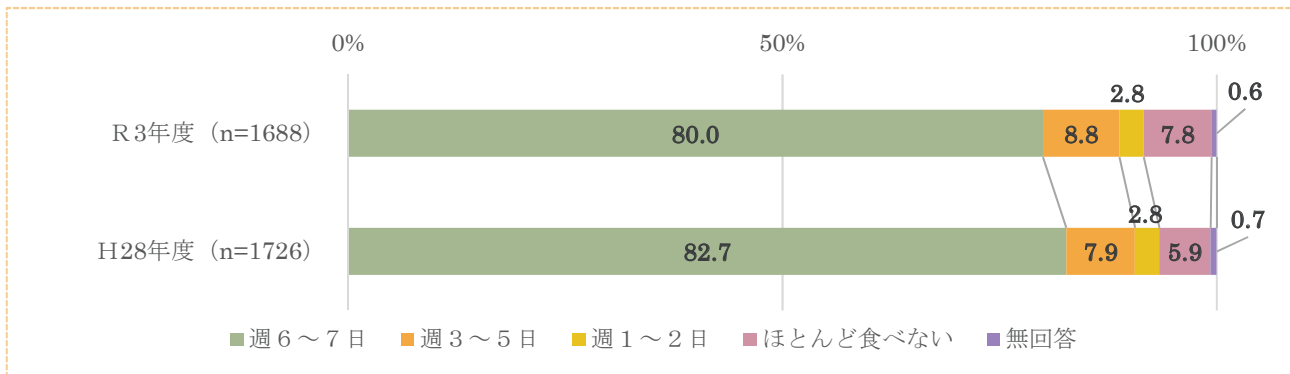
## 8 伊勢原市健康づくりに関する意識調査の結果

### 調査の概要

年度	調査対象	配布・回収方法	調査時期	回収数	回答率
R3	18歳以上の市民3,000人 (住民基本台帳より無作為抽出)	郵送	令和3年9月10日から 令和3年9月30日	1,688人	56.3%
H28	18歳以上の市民3,000人 (住民基本台帳より無作為抽出)	郵送	平成28年8月31日から 平成28年9月15日	1,726人	57.5%

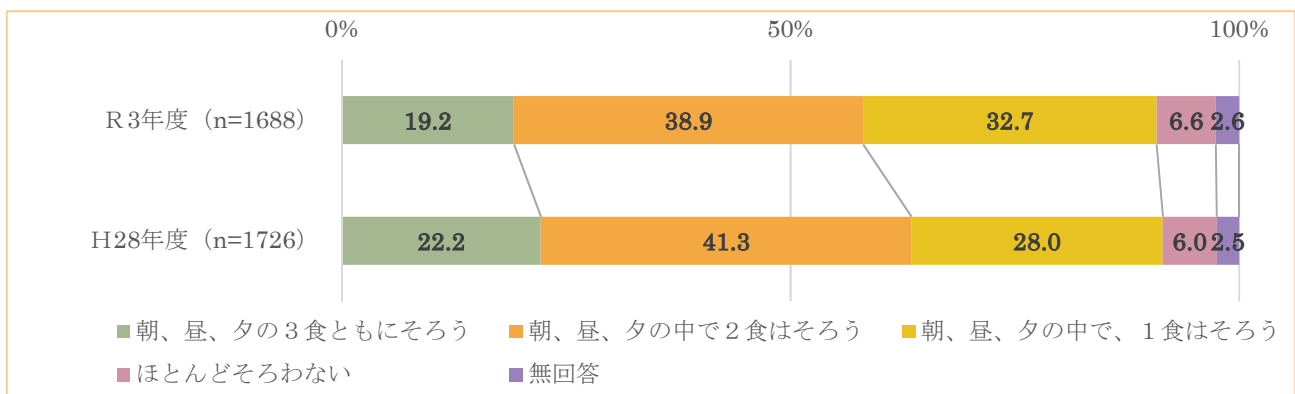
朝食を週6～7日食べている人は、80%です。

### 朝食をどのくらいの頻度で食べているか



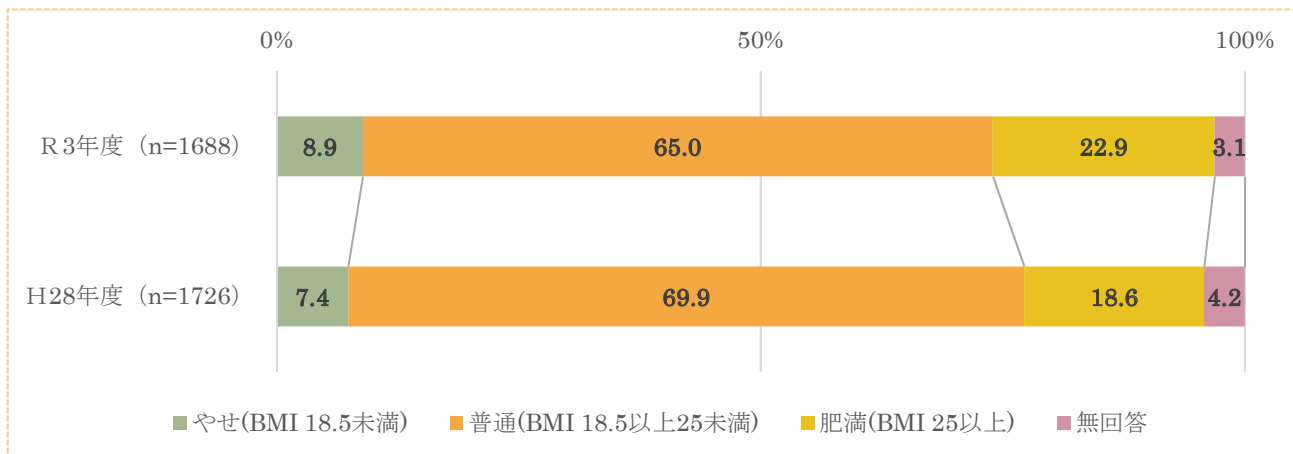
1日に2～3食は主食、主菜、副菜がそろった食事をしている人は、約58%です。

### 朝食・昼食・夕食に主食・主菜・副菜のそろった食事をしているか



やせの人は約9%、肥満の人は約23%です。

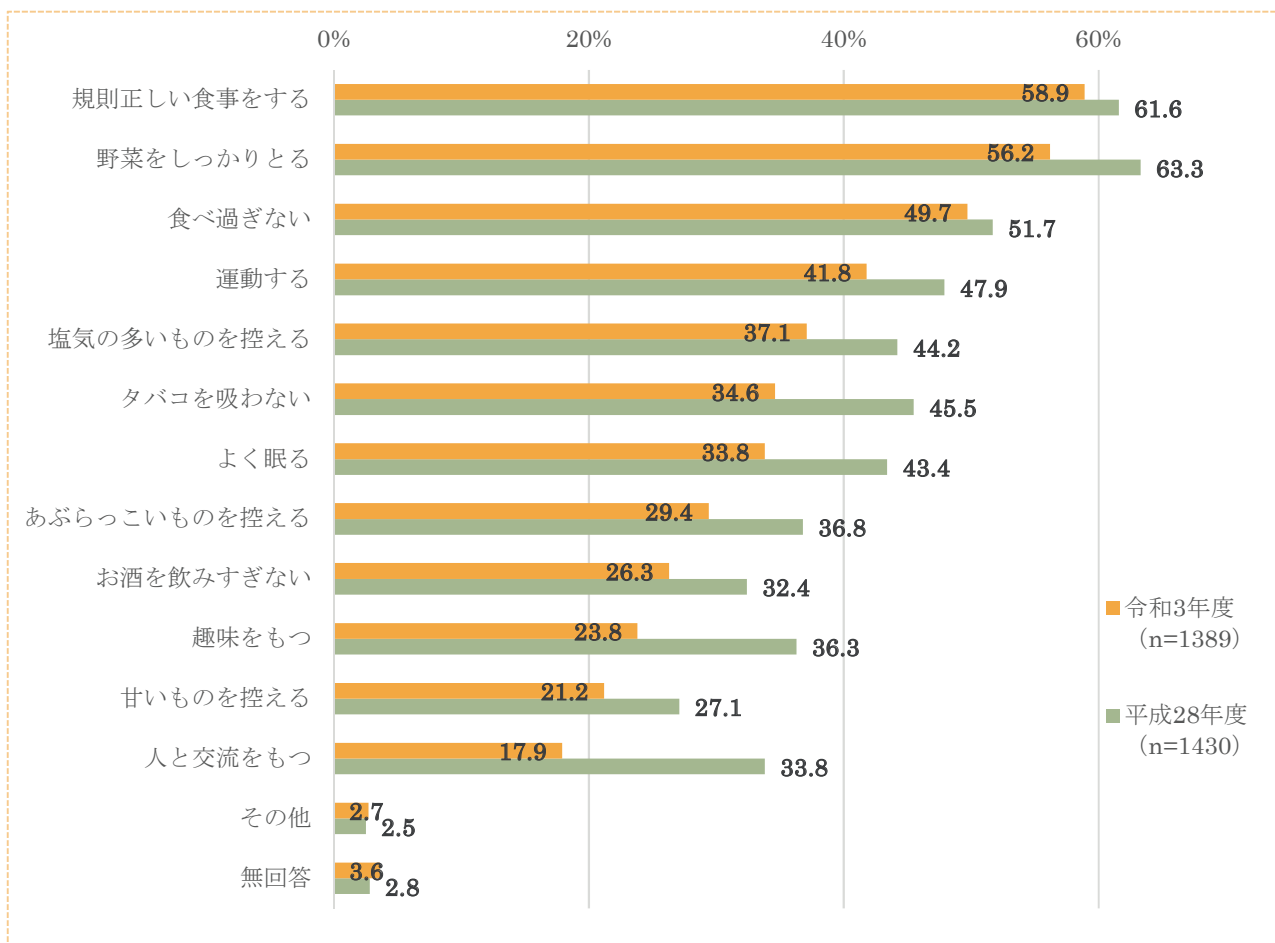
### 体格



\* やせ、普通、肥満は、日本肥満学会が定めた基準により、体格指数 (BMI : Body Mass Index) で判定しました。

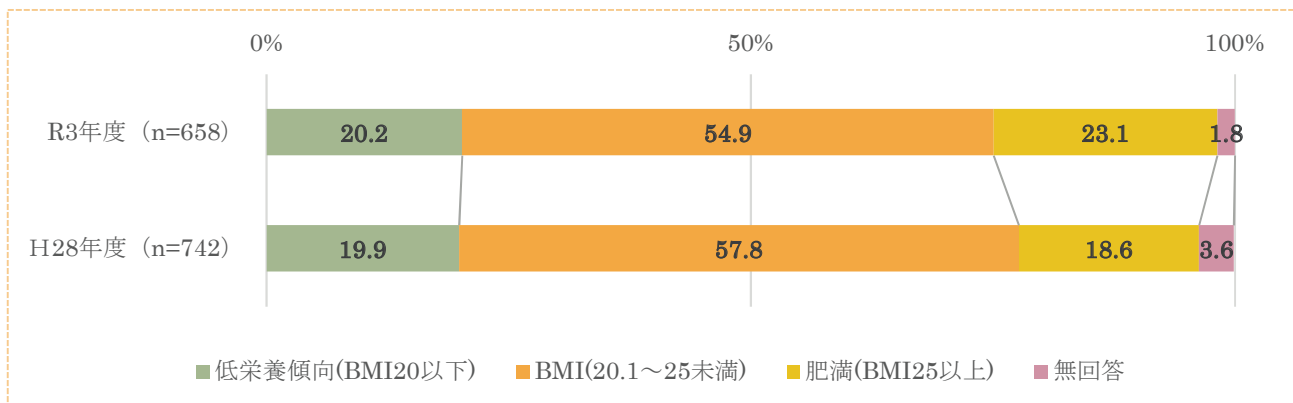
健康のために食事に関して日頃から心がけていることのうち、「塩気の多いものを控える」「あぶらっこいものを控える」人は、40%以下です。

### 健康のために日ごろから心がけていること (複数回答)



高齢者のうち、低栄養傾向（BMI 20以下）の体格の人は、約20%です。

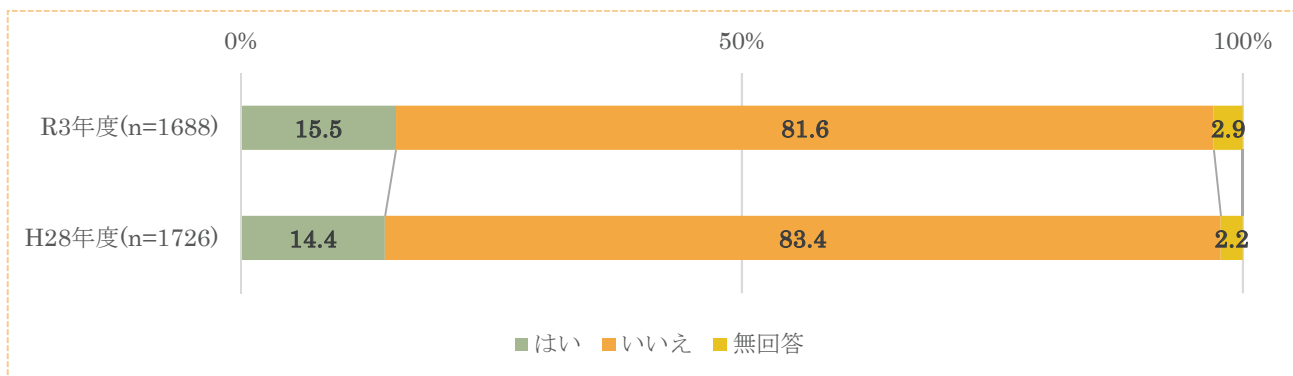
高齢者（65から79歳）のBMI



\*「健康日本21(第二次)」では、「やせあるいは低栄養状態にある高齢者」ではなく、より緩やかな基準を用いて「低栄養傾向にある高齢者」の割合を減少させることを重視しています。その際、「低栄養傾向」の基準として、要介護や総死亡リスクが統計学的に有意に高くなるポイントとして示されているBMI 20以下を指標として設定しています。

たばこを吸う人は、約16%です。

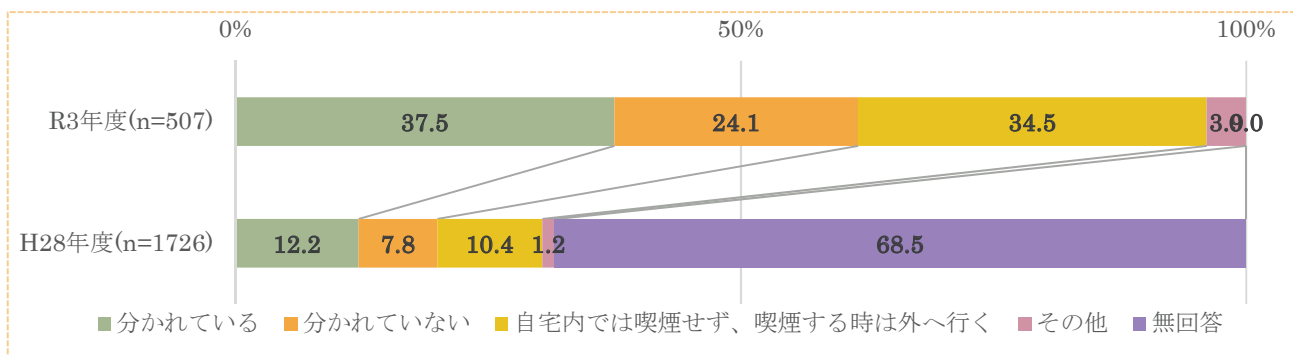
たばこを吸っているか



家族の中でたばこを吸う人がいる場合、喫煙場所が分かれていない人は、約24%です。

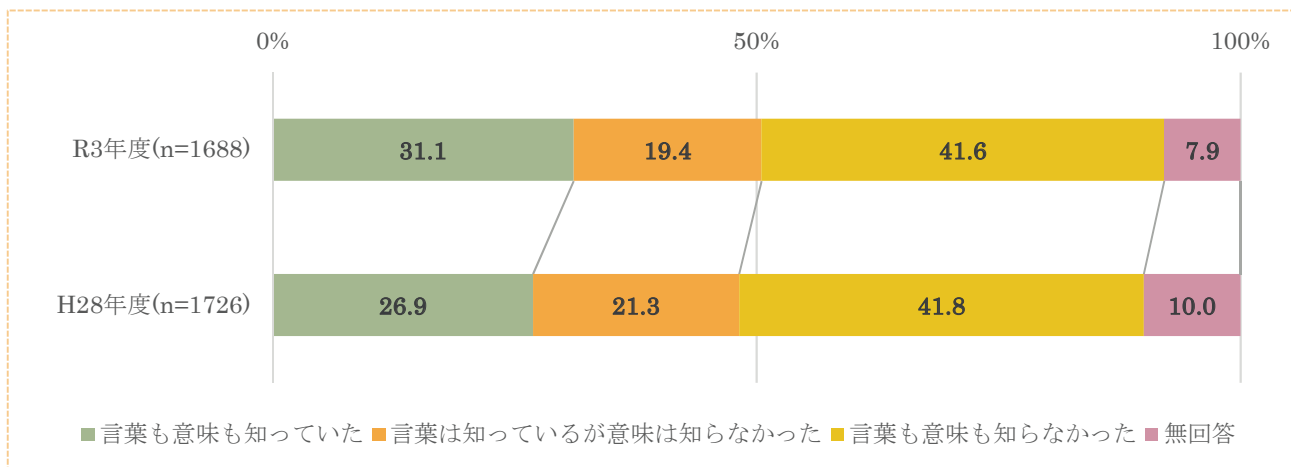
自宅の中で喫煙する場所は分かっているか

【家族の中で（自分を含む）タバコを吸う人がいる人が回答】



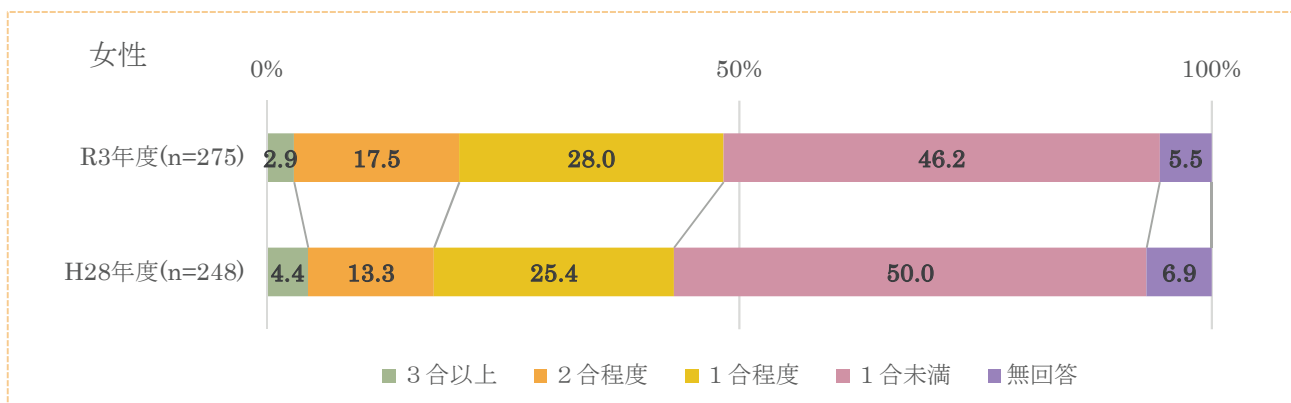
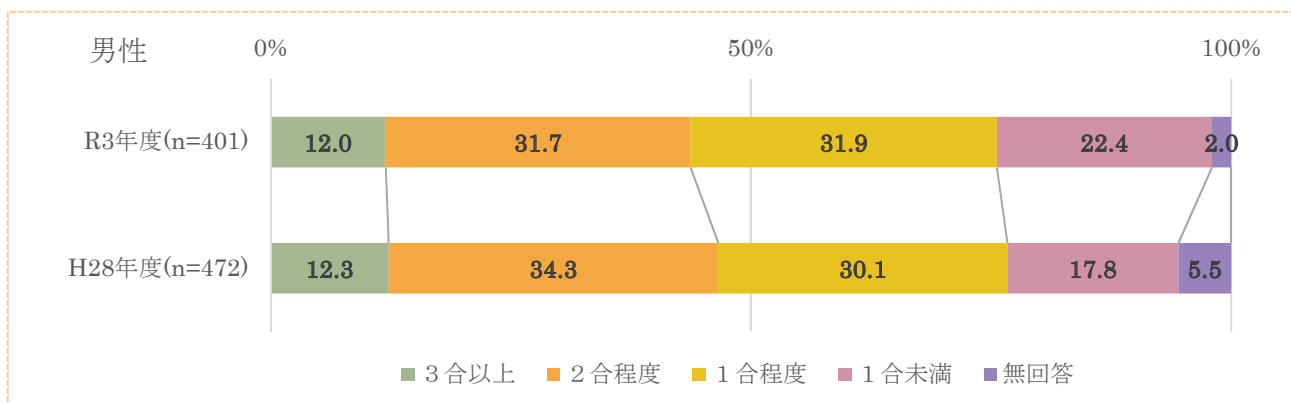
COPD\*4（慢性閉塞性肺疾患）の言葉も意味も知っている人は、約31%です。

COPD の言葉も意味も知っているか



生活習慣病リスクを高める量を飲酒している人（成人1日当たりの純アルコール摂取量：男性40g以上、女性20g以上）は、男性3合以上は12%、女性2合程度以上は約20%です。

1回に飲むお酒の量【男女別】（お酒を飲むと答えた人が回答）

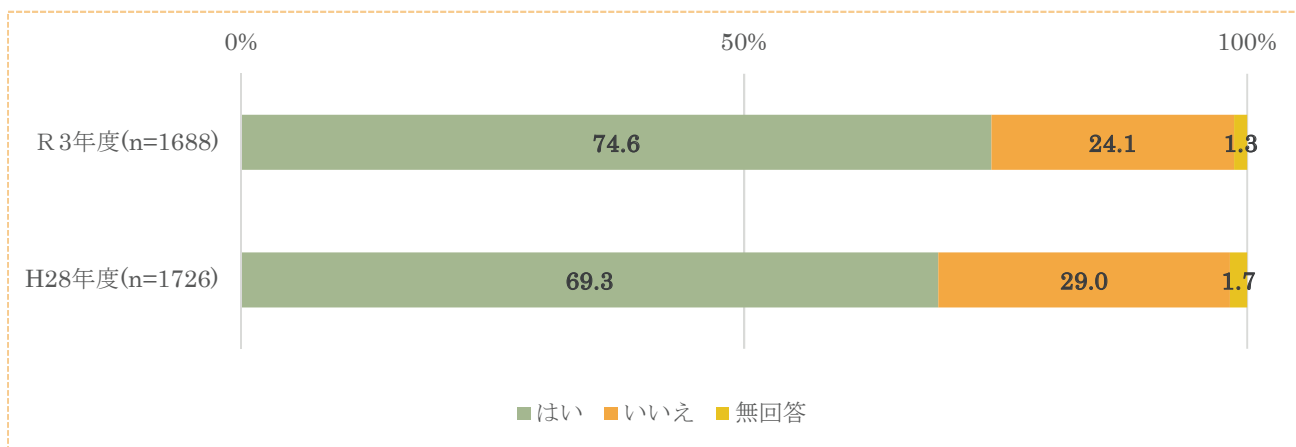


\*4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、以前は「肺気腫」「慢性気管支炎」と呼ばれていた疾患をまとめた病名です。咳、痰、軽い労作中の息切れなどの症状が特徴で、数年間かけて進行し、異常に気づいたときには既に重症化していることがあります。COPDの最大の要因は喫煙です。

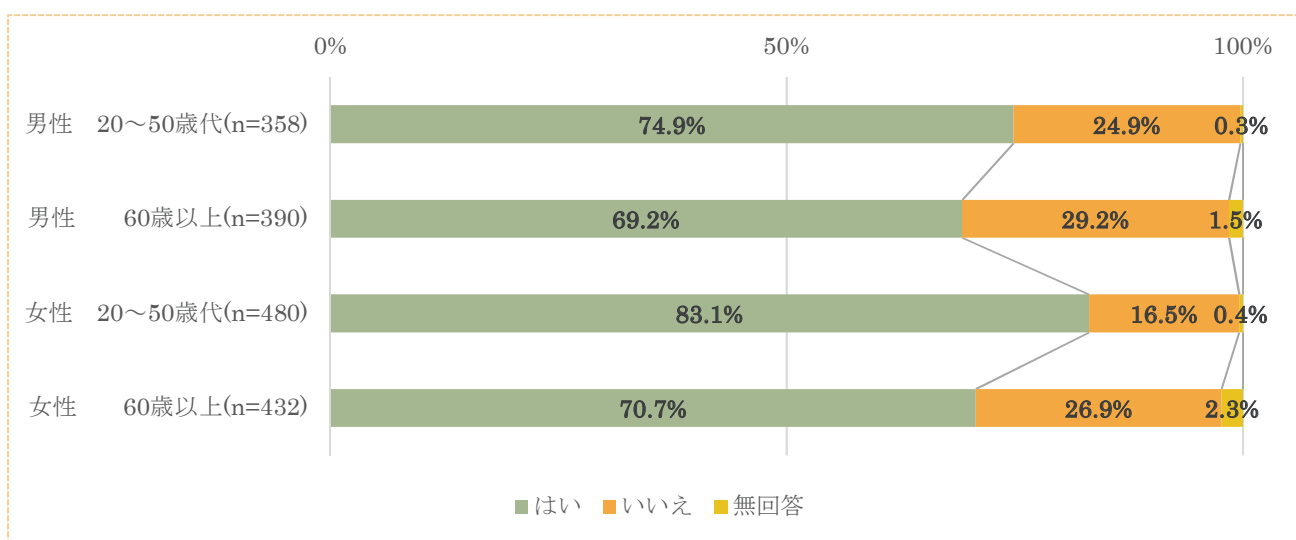


運動不足と感じている人は、全体では約75%で、20歳から50歳の人では、男性は約75%、女性は約83%です。

### 運動不足と感じているか

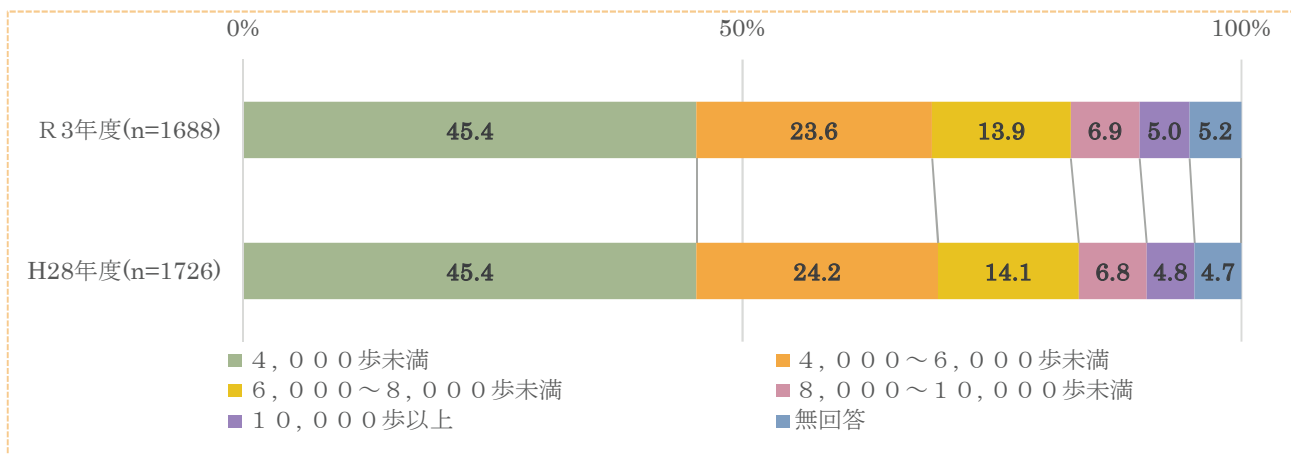


### 令和3年度 運動不足と感じているか【男女別・年齢別】(n=1,660)

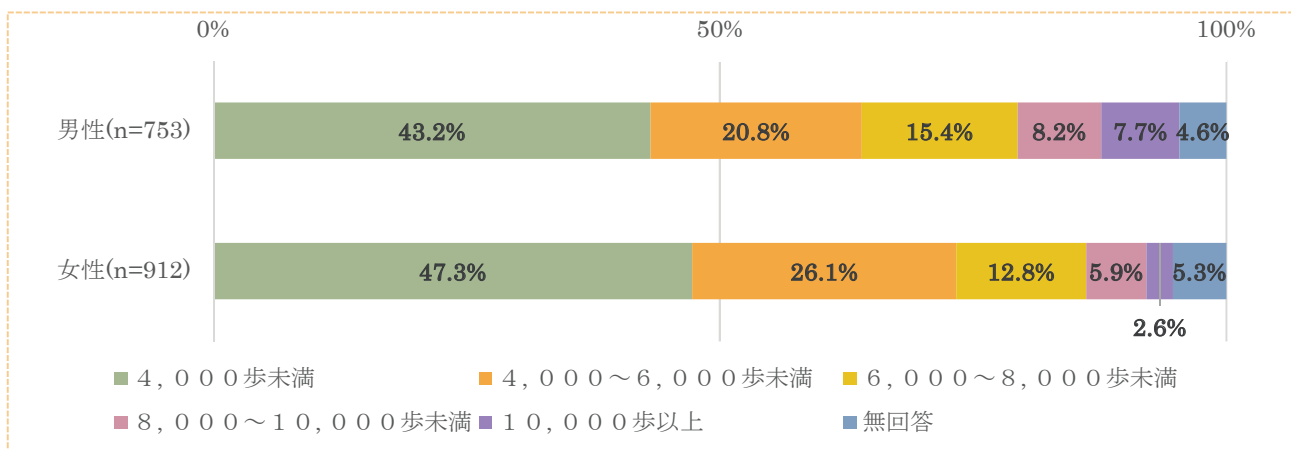


1日の歩数は、8,000歩以上の人が全体では約12%、男性では約16%、女性では約9%です。

### 1日にどの程度歩くか

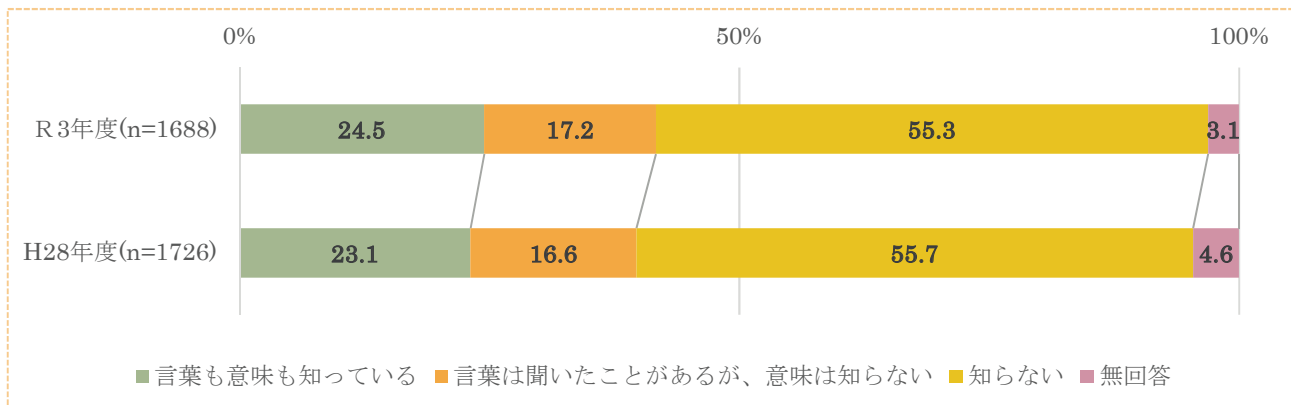


### 令和3年度 1日にどの程度歩くか【男女別】(n=1,665)



ロコモティブシンドローム<sup>\*5</sup>の言葉も意味も知っている人は、約24%です。

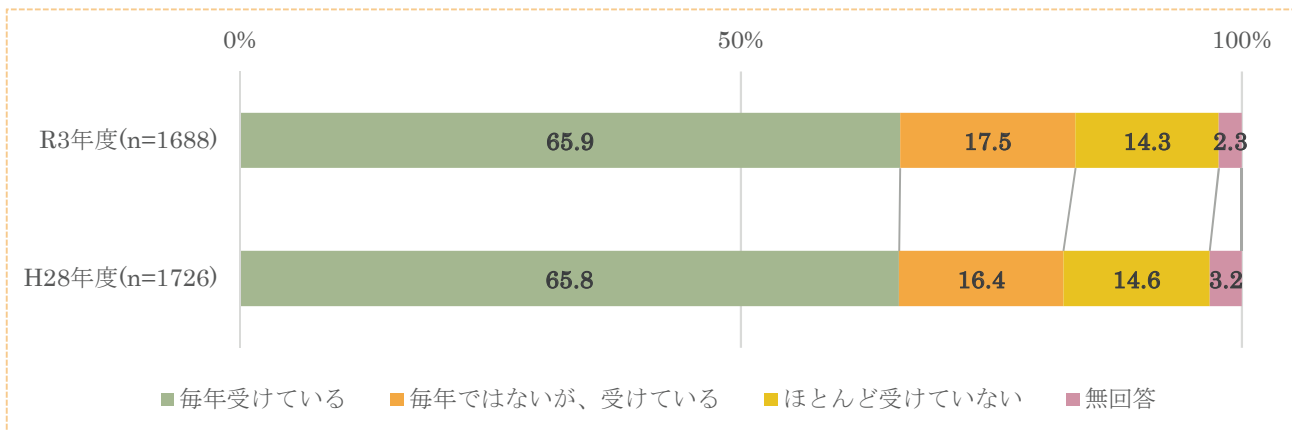
### ロコモティブシンドロームを知っているか



<sup>\*5</sup> ロコモティブシンドローム（通称：ロコモ）とは、運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態をいいます。進行すると介護が必要になるリスクが高くなるため、いつまでも自分の足で歩き続けていくために、運動機能を維持し、ロコモを予防し、健康寿命を延ばしていく必要があります。

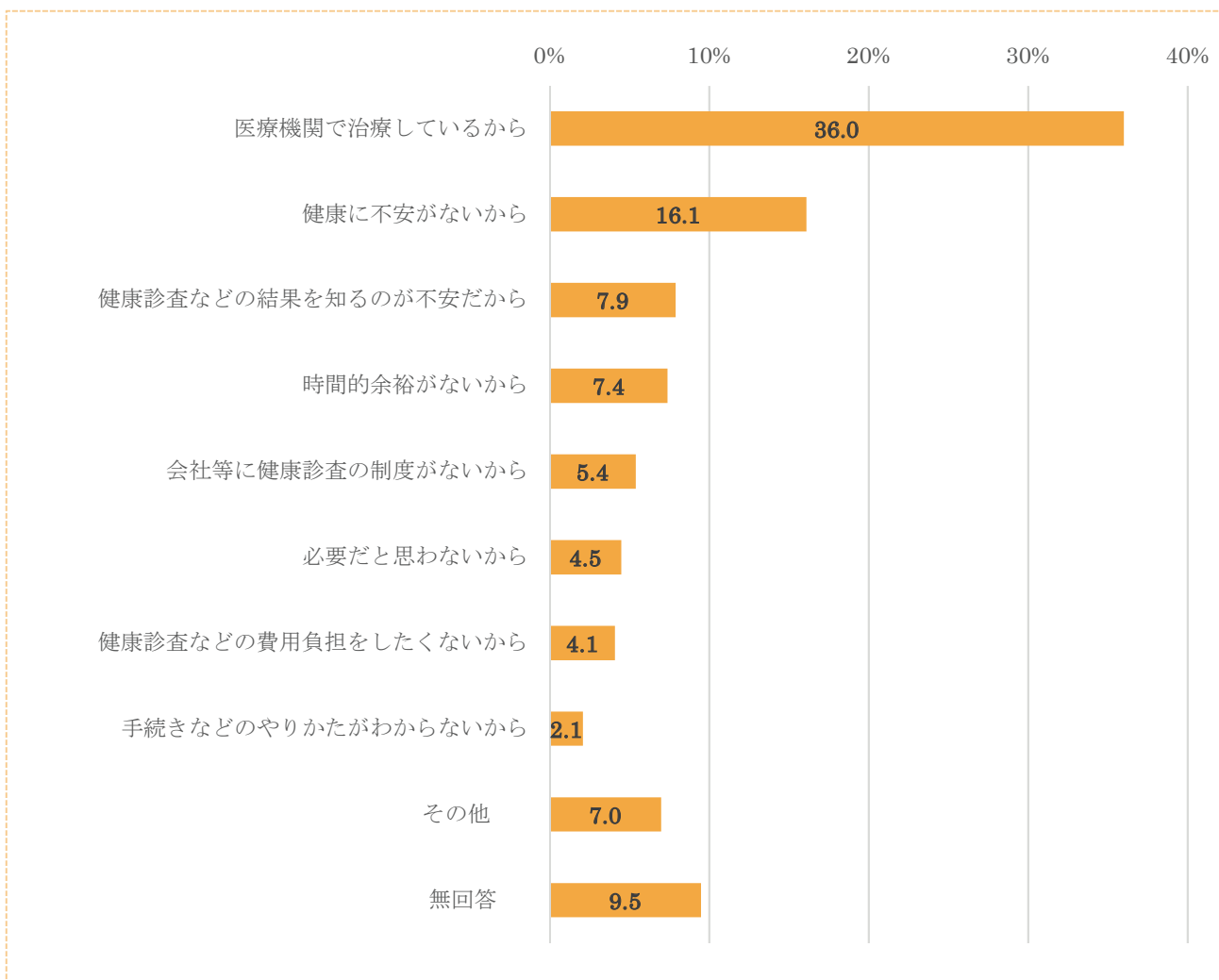
1年に1回健康診査を受ける人は、約66%です。

健康診査や健康診断などを受けている人の割合



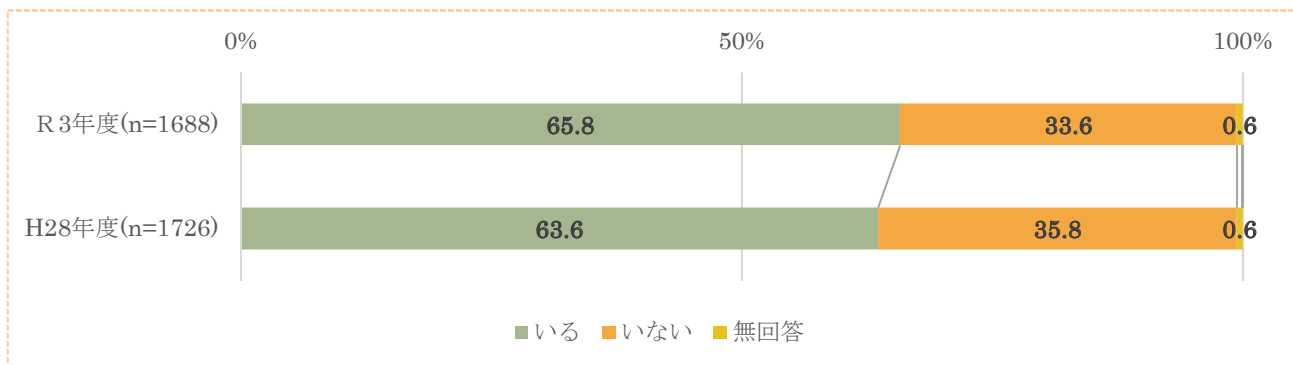
健康診査などを受けない理由は、「医療機関で治療しているから」が36%で、最も多いです。

令和3年度 健康診査などを受けない理由（最もあてはまるものを回答）（n=242）



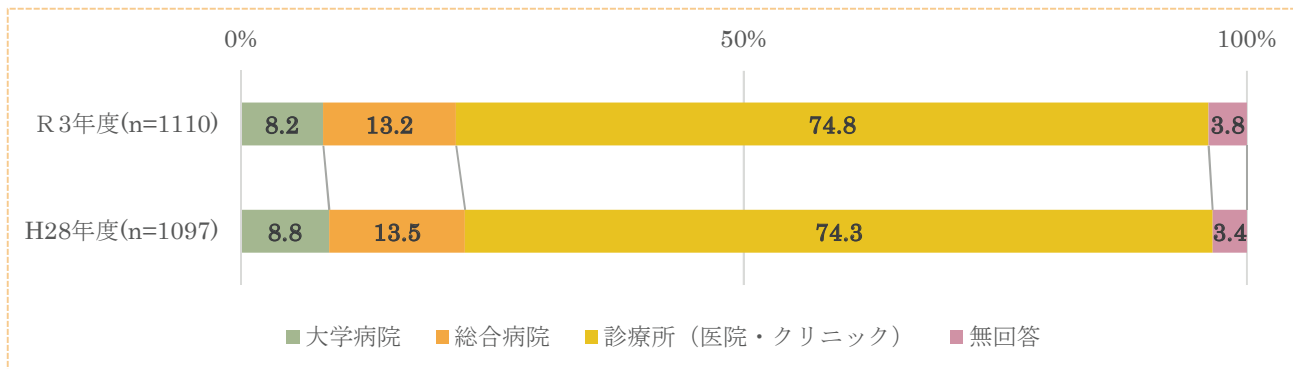
かかりつけ医師がいる人は、約66%です。

### かかりつけ医師の有無



かかりつけ医師は、診療所（医院・クリニック）が約75%で、最も多いです。

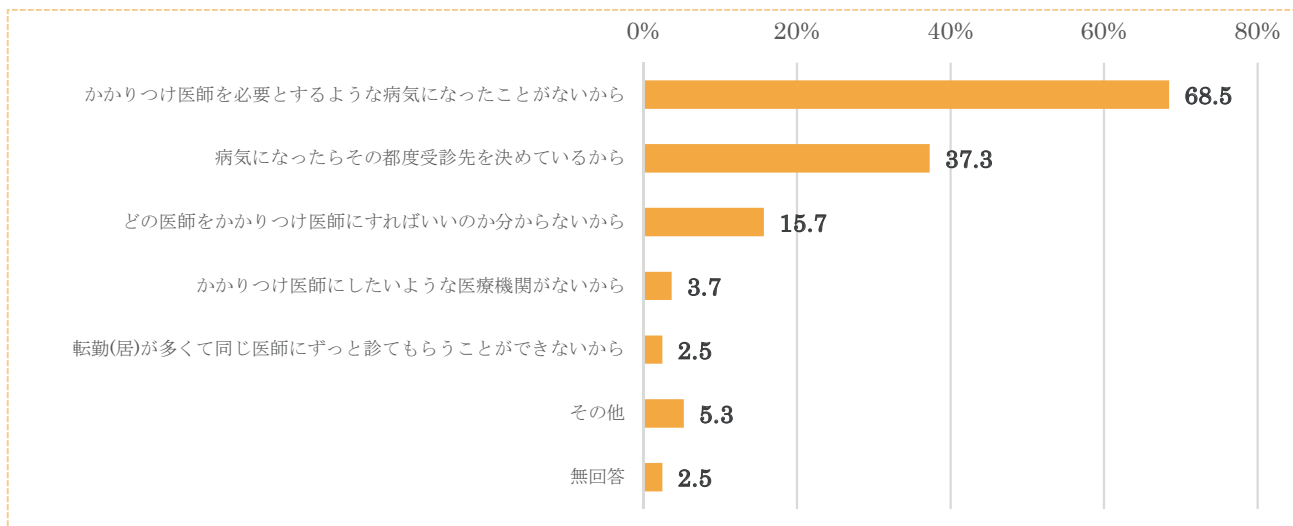
### かかりつけ医師の内訳



かかりつけ医師がいない理由は、「かかりつけ医師を必要とするような病気になったことがないから」が約69%で、最も多いです。

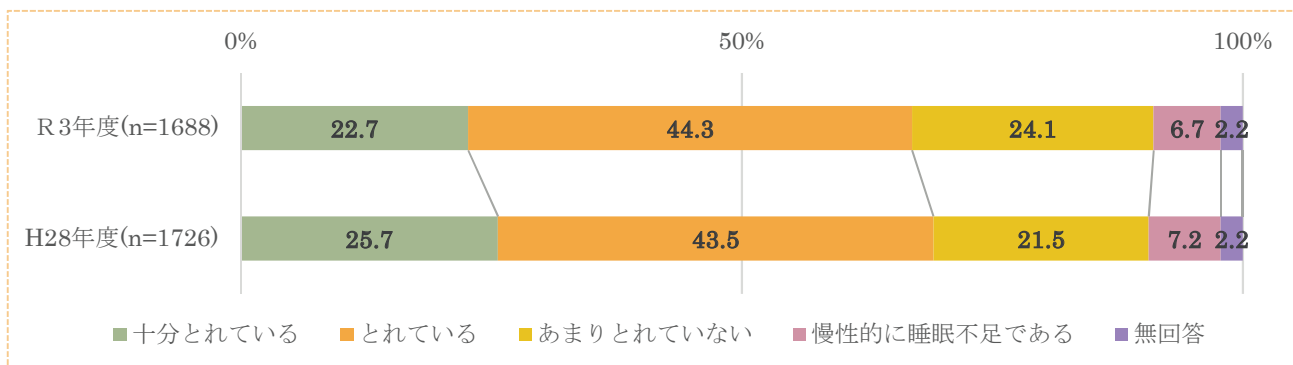
### 令和3年度 かかりつけ医師がいない理由 (n=568)

(かかりつけ医師がいないと回答した人) 複数回答



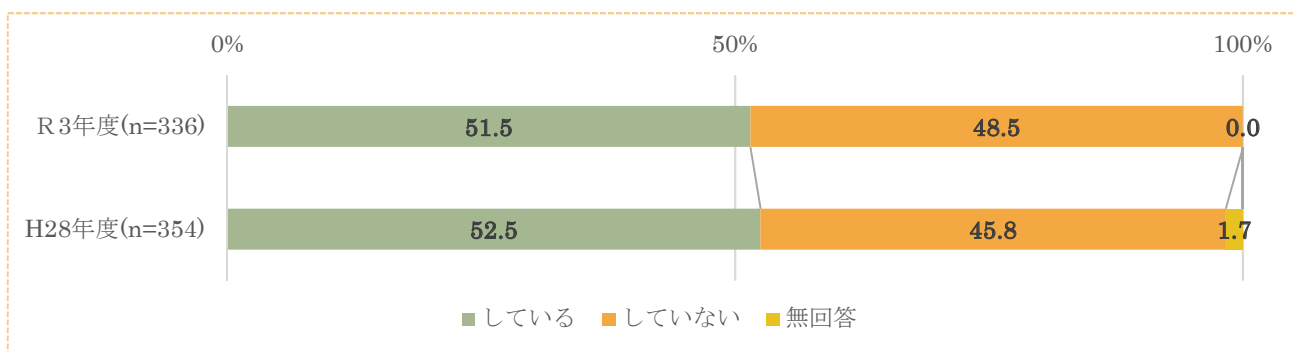
睡眠があまりとれていない人は、「あまりとれていない」「慢性的に睡眠不足である」を合わせると、約31%です。

睡眠を十分にとれているか



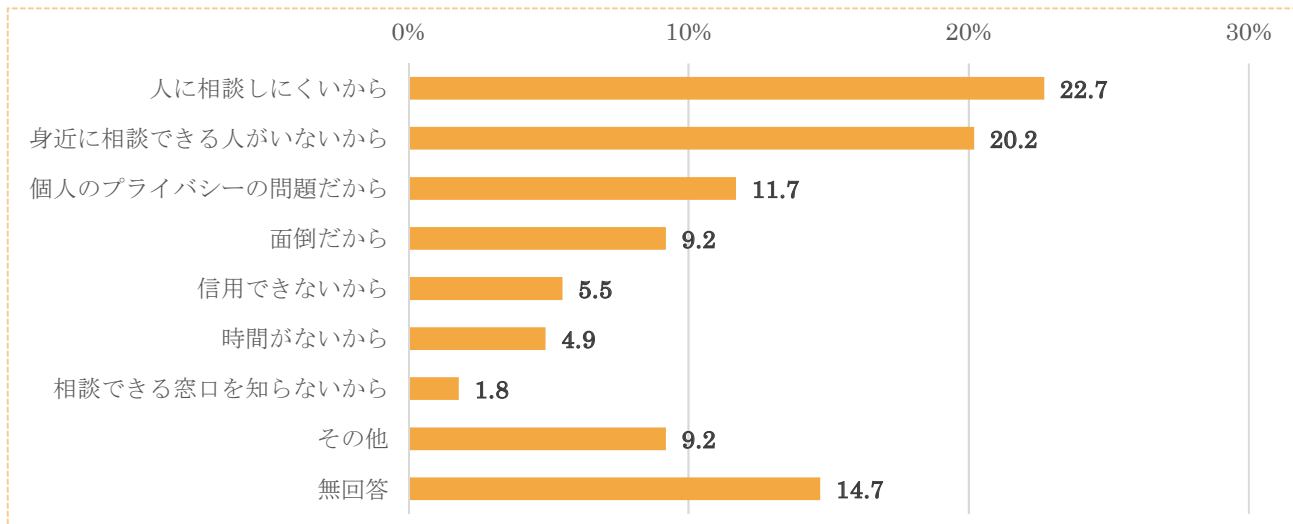
悩みがあった時は早めに誰かに相談するようにしている人は、約52%です。

悩みがあった時は早めに誰かに相談するようにしているか



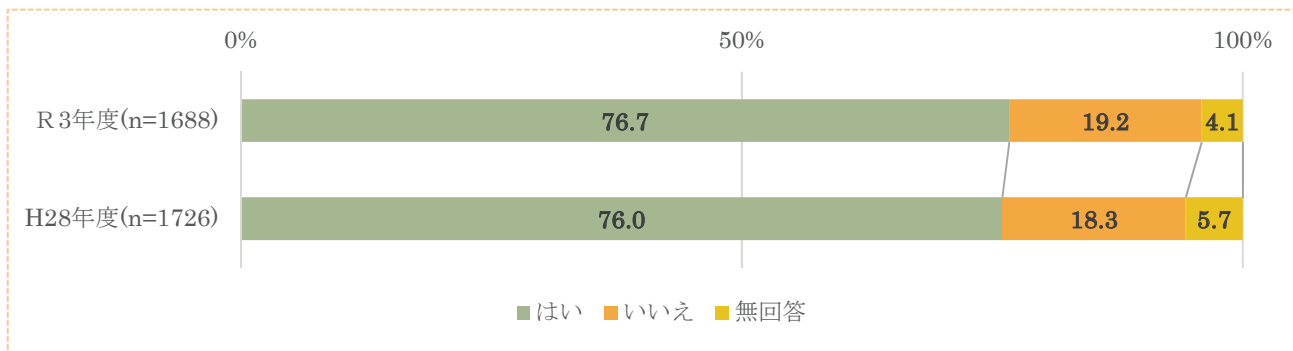
悩みがあった時に誰かに相談していない理由は、「人に相談しにくいから」が約23%で、最も多いです。

令和3年度 相談していない理由（1つに〇）（相談していないと回答した人が回答）（n=163）



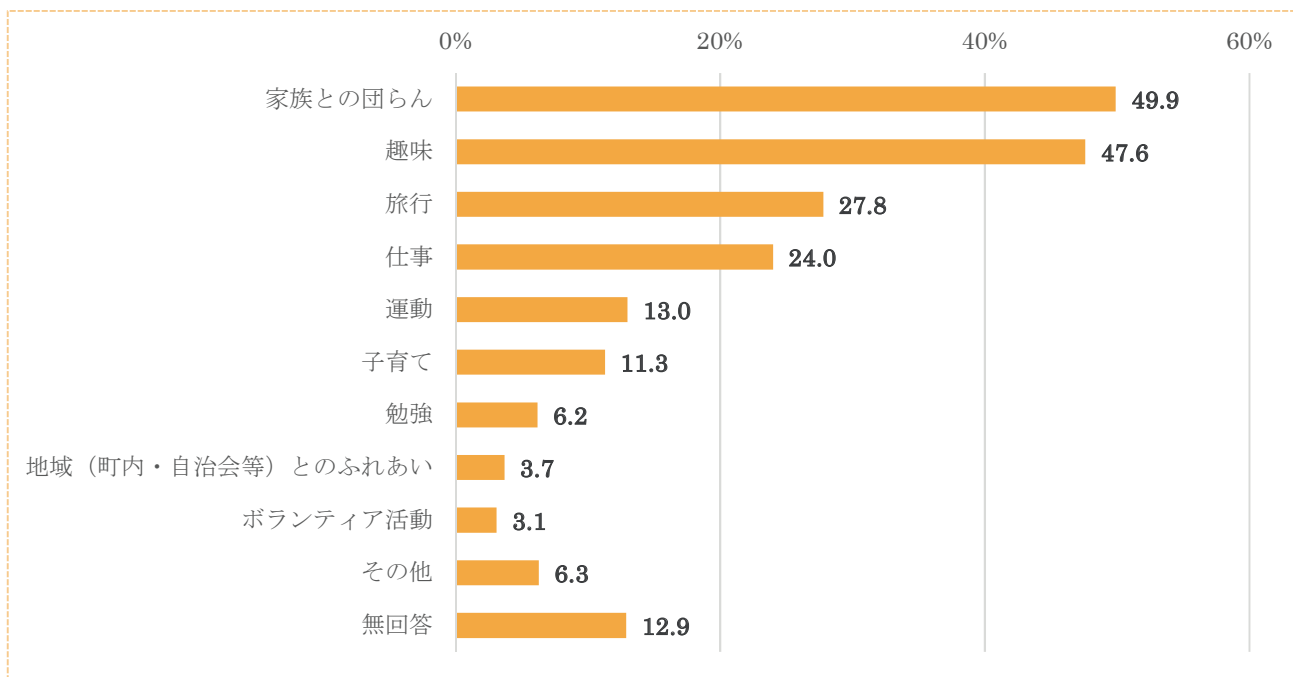
生きがいがある人は、約77%です。

生きがいはあるか



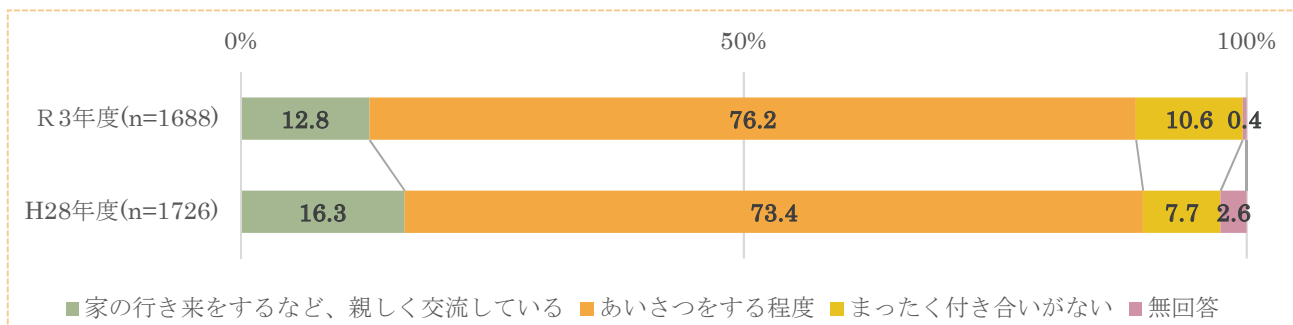
生きがいの内容は、「家族との団らん」の人が約50%で、最も多いです。

令和3年度 生きがいは何だと思うか（主なものを3つまで○）（n=1,688）



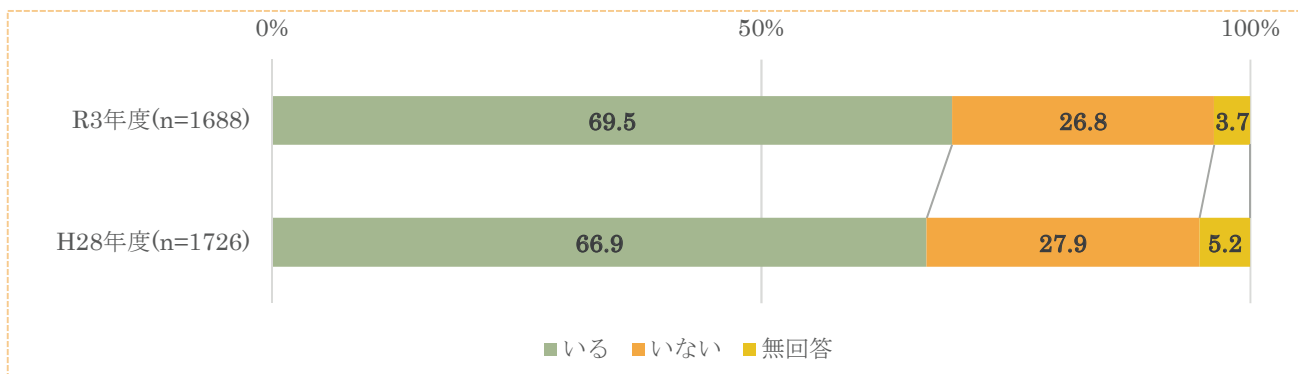
近所と親しく交流している人は、約13%です。

近所との交流がどの程度あるか



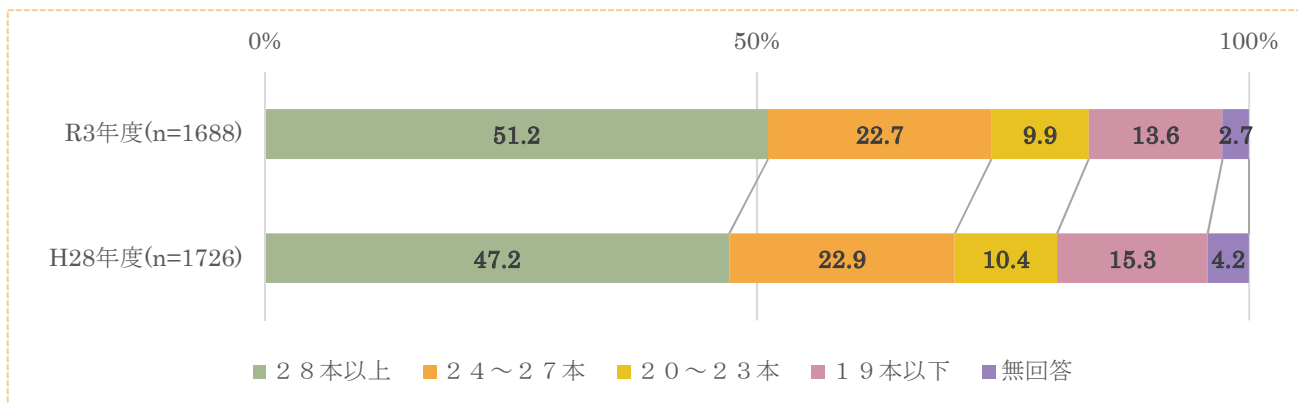
かかりつけ歯科医師がいる人は、約70%です。

かかりつけ歯科医師の有無



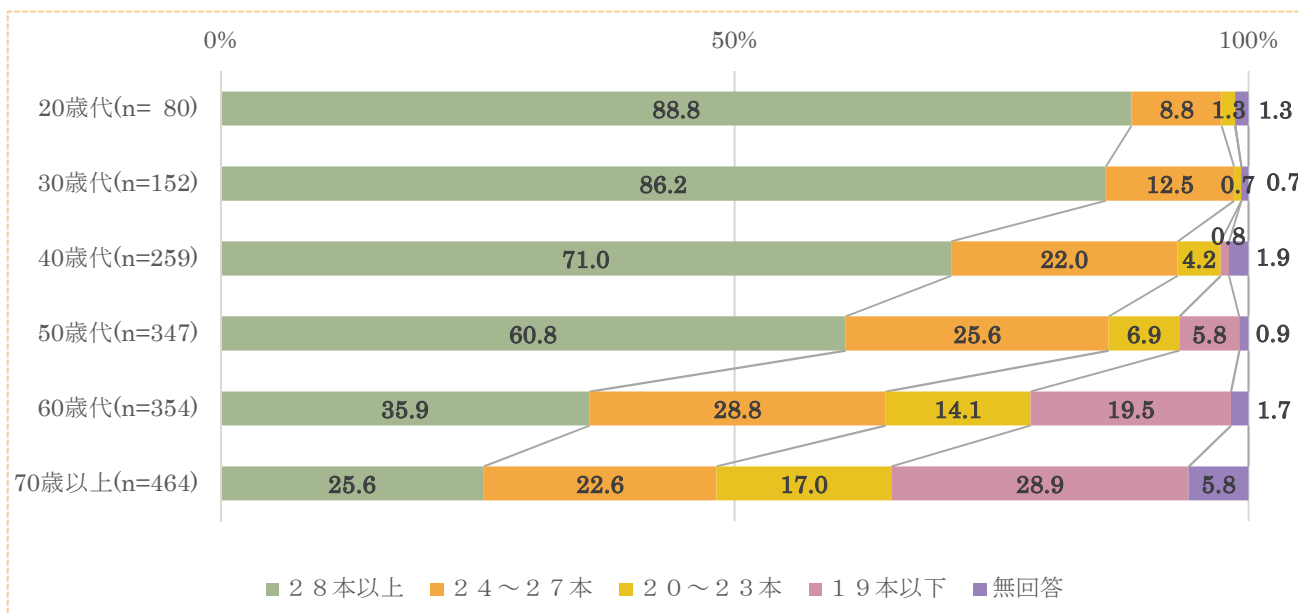
歯の本数が「28本以上」の人は、約51%です。

現在の歯の本数



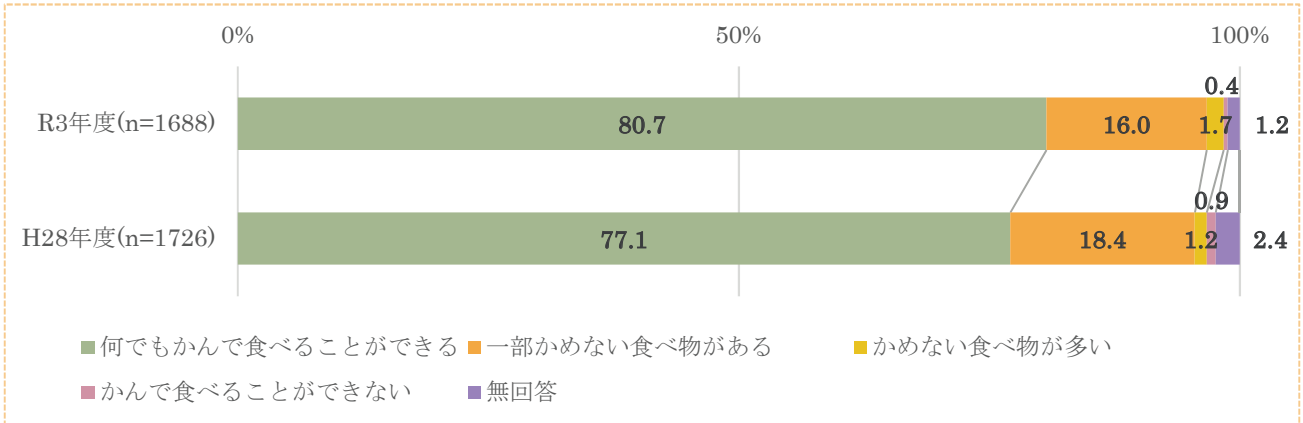
歯の本数が「28本以上」の人は年齢が上がるにつれて、少なくなっています。

令和3年度 現在の歯の本数【年齢別】(n=1,656)



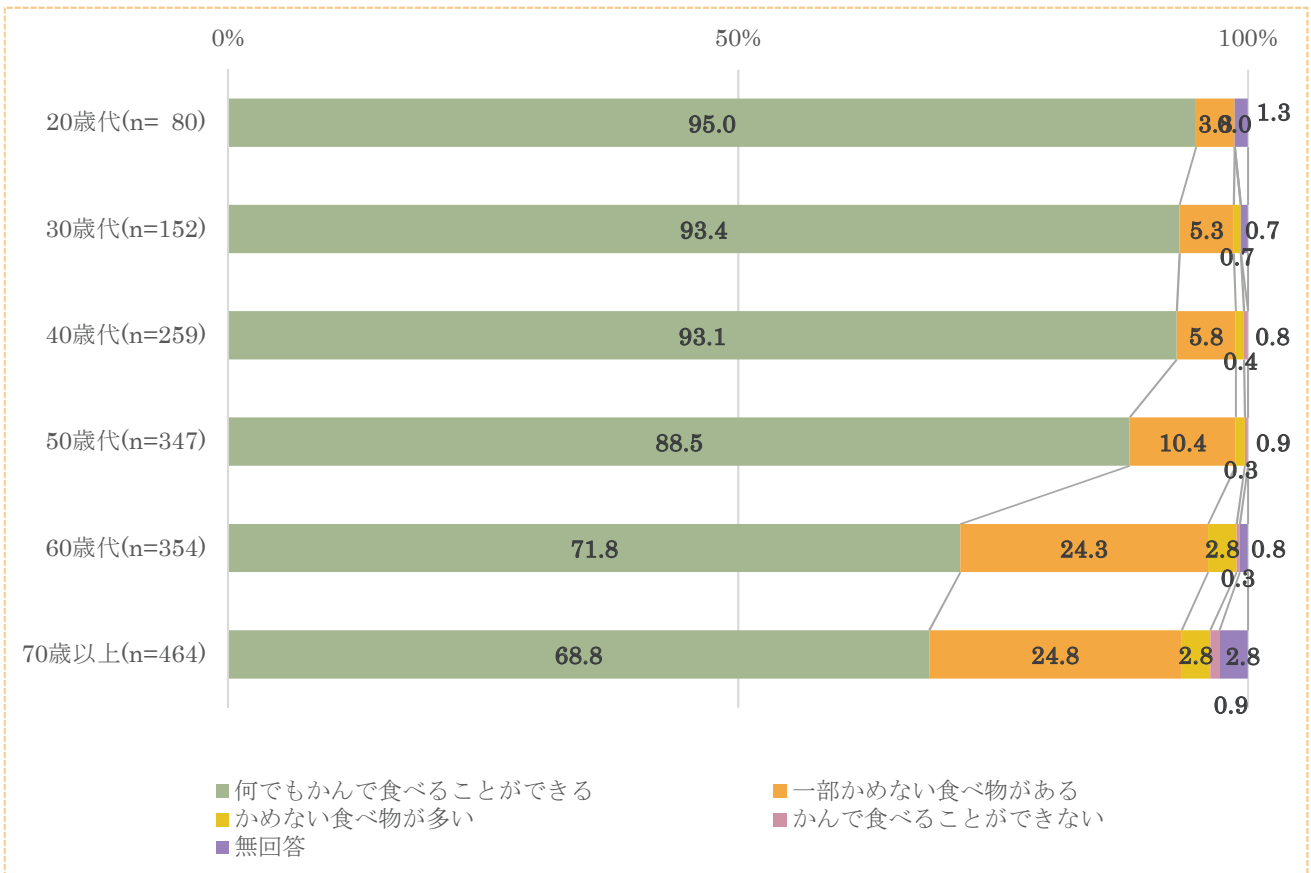
なんでもかんで食べることができる人は、約81%です。

かんで食べる時の状態



なんでもかんで食べることができる人は、年齢が上がるにつれて少なくなっています。

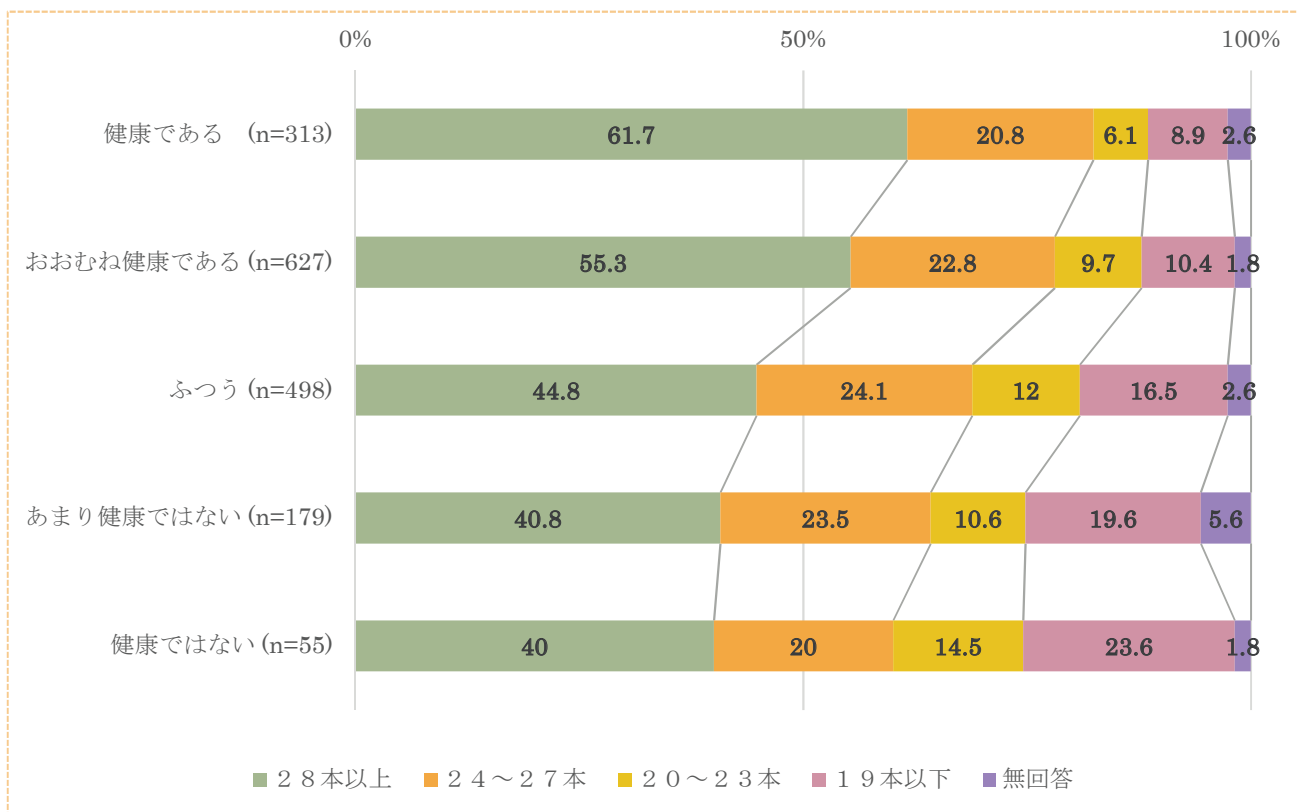
令和3年度 かんで食べる時の状態【年齢別】(n=1,656)





「健康である」と答えた人のうち、28本以上歯がある人が約62%で最も多いです。

令和3年度健康意識と歯の本数 (n=1,672)



伊勢原市公式イメージキャラクター  
クルリン